

公益社団法人 地盤工学会
四国支部

平成 31 年度 支部総会 議案書

開催日：平成 31 年 4 月 22 日（月）

会 場：レクザムホール（香川県県民ホール）

大会議室（小ホール棟 4F）

（高松市玉藻町 9 番 10 号）

目 次

平成 30 年度 特別会員表彰他

第 1 号議案	平成 30 年度 支部事業報告（案）	1
第 2 号議案	平成 30 年度 支部収支決算報告（案）	25
第 3 号議案	支部規程・支部会計規程の改定（案）	29
第 4 号議案	平成 31 年度 支部役員（案）	31
第 5 号議案	平成 31 年度 支部事業計画（報告）	35
第 6 号議案	平成 31 年度 支部収支予算（報告）	39
第 7 号議案	支部創立 60 周年記念事業計画（報告）	41

[参考資料]

平成 30 年度特別会員表彰他

特別会員表彰

清水建設株式会社 四国支店	2 級 (50 年)
株式会社アースコンサルタント	4 級 (50 年)
田村ポーリング株式会社	4 級 (50 年)
四国建設コンサルタント株式会社	4 級 (50 年)
株式会社チェリーコンサルタント	4 級 (50 年)
株式会社ナイバ	4 級 (50 年)
西日本高速道路株式会社 四国支社	4 級 (25 年)
株式会社 技研製作所	4 級 (10 年)

以 上

永年にわたる正会員への感謝状贈呈

大川 義明

大日本コンサルタント(株) 四国支店技術部

以 上

平成30年度 四国支部賞 受賞業績（者）

1. 技術賞（応募件数 1件）

受賞業績名	受賞者
異なる地すべり対策施設等を活用した 人材育成と技術の伝承	内田 純二 （西日本高速道路エンジニアリング四国（株）） 伊藤 博信 （ " ）

2. 技術開発賞（応募件数0件）

3. 研究・論文賞（応募件数 2件、受賞件数 1件）

受賞業績名	受賞者
讃岐山脈南麓部における DEM を利用し た地すべり緩斜面の地形量の特徴	菅原 大介（（株）四電技術コンサルタント） 藤川 聡 （ " ）

4. 功績賞（応募件数 1件）

以 上

第 1 号議案 平成 3 0 年度 支部事業報告(案)

平成 30 年度 支部事業報告（案）

1. 総会、役員会等

(1) 支部総会

第 1 回 平成 30 年 4 月 24 日（火）16:00～17:00 レクザムホール（香川県県民ホール）
（高松市）

- ・平成 29 年度 特別会員表彰
- ・平成 29 年度 支部事業報告（案）
- ・平成 29 年度 支部収支決算報告（案）、監査報告
- ・地盤工学会四国支部会計規程（案）
- ・平成 30 年度 支部役員（案）
- ・平成 30 年度 支部事業計画
- ・平成 30 年度 支部収支予算

(2) 評議員会

第 1 回 平成 30 年 4 月 24 日（火）14:30～15:30 レクザムホール（香川県県民ホール）
（高松市）

- ・平成 30 年度 支部役員（案）
- ・平成 29 年度 支部事業報告（案）
- ・平成 29 年度 支部収支決算報告（案）、監査報告
- ・地盤工学会四国支部会計規程（案）
- ・平成 29 年度 特別会員表彰
- ・平成 30 年度 支部事業計画
- ・平成 30 年度 支部収支予算

第 2 回 平成 30 年 9 月 12 日（メール審議）

- ・四国支部役員（評議員）の変更について
- ・地盤工学会四国支部創立 60 周年記念事業について

第 3 回 平成 30 年 10 月 16 日（メール審議）

- ・地盤工学会四国支部特別講演会の開催について

第4回 平成31年1月11日（メール審議）

- ・地盤工学会四国支部規程の改定について
- ・四国支部役員（評議員）の変更について

第5回 平成31年2月15日（金）14:20～15:40 サンポートホール高松（高松市）

- ・平成30年度 支部事業報告
- ・平成30年度 支部決算見込み報告
- ・2019年度 支部役員案
- ・2019年度 支部事業計画案
- ・2019年度 支部予算案
- ・その他

(3) 幹事会

第1回 平成30年6月28日（木）14:00～15:00 サンポートホール高松（高松市）

- ・平成30年度支部役員
- ・地盤工学会第60回通常総会
- ・理事会報告
- ・平成30年度支部交付金予算
- ・平成30年度支部事業計画
- ・その他

第2回 平成30年10月2日（メール審議）

- ・地盤工学会四国支部特別講演会の開催について

第3回 平成30年12月17日（メール審議）

- ・報告事項（本部支部連絡協議会、支部役員（H30.9.21改定）、理事会議事）
- ・平成30年度支部事業報告（中間）
- ・平成30年度技術研究発表会優秀発表賞の受賞者
- ・平成30年度地盤工学会名誉会員候補者募集
- ・平成30年度地盤工学会四国支部賞募集
- ・支部創立60周年記念事業 第1回実行委員会の状況

第4回 平成31年2月15日（金）13:20～14:10 サンポートホール高松（高松市）

- ・平成30年度 支部事業報告
- ・平成30年度 支部決算見込み報告
- ・2019年度 支部役員案

- ・2019年度 支部事業計画案
- ・2019年度 支部予算案
- ・その他

(4) 地盤工学会四国支部創立 60 周年記念事業 実行委員会

1) 第 1 回(設立総会) 平成 30 年 10 月 30 日 (火) 15:00～16:30

サンポートホール高松 (高松市)

- ・地盤工学会四国支部創立 60 周年記念事業準備検討委員会からの報告
- ・地盤工学会四国支部創立 60 周年記念事業実行委員会規約(案)について
- ・地盤工学会四国支部創立 60 周年記念事業実行委員会(部員)について
- ・地盤工学会四国支部創立 60 周年記念事業について (案)
- ・その他

2) 第 2 回 平成 31 年 2 月 15 日 (金) 15:30～16:30 サンポートホール高松 (高松市)

- ・第 1 回議事録確認
- ・地盤工学会四国支部創立 60 周年記念事業実行委員会(部会)からの報告
- ・地盤工学会四国支部創立 60 周年記念事業について (案)
- ・その他

(5) 第 53 回地盤工学研究発表会実行委員会

1) 第 2 回実行委員会

日時：平成 30 年 5 月 24 日 (木) 13:30～15:00

場所：サンポートホール高松 55 会議室

- 内容：1. 第 53 回地盤工学研究発表会 (高松大会) の開催概要について
 2. 準備状況について
 3. その他

2) 第 3 回実行委員会

日時：平成 30 年 9 月 20 日 (木) 15:30～17:00

場所：サンポートホール高松 55 会議室

- 内容：1. 第 53 回地盤工学研究発表会 (高松大会) の開催報告
 2. 第 53 回地盤工学研究発表会 (高松大会) の収支報告
 3. 地盤工学会誌 高松大会特集号 (12 月号)
 4. その他

(6) 第53回地盤工学研究発表会実行委員会 部会長会議

1) 第5回部会長会議

日時：平成30年4月18日(水) 13:30～15:30

場所：サンポートホール高松 66会議室

- 内容：1. 調査・研究部との調整および進行状況
2. 実行委員会各部会からの検討状況
3. 「参加者のしおり」の作成について
4. 「技術展示のしおり」の作成について
5. 各部会のマニュアル作成について
6. アルバイト・スタッフの計画について
7. その他

2) 第6回部会長会議

日時：平成30年5月25日(木) 15:00～17:00

場所：サンポートホール高松 55会議室

- 内容：1. 本部 調査・研究部会の報告
2. 各部会での検討進捗状況
3. 「参加者のしおり」の作成
4. 「技術展示のしおり」の作成
5. アルバイト・スタッフの計画

3) 第7回部会長会議

日時：平成30年6月28日(木) 15:10～17:00

場所：サンポートホール高松 64会議室

- 内容：1. 本部 調査・研究部会の報告
2. 各部会での検討進捗状況
3. アルバイト・スタッフの計画

4) 第8回部会長会議

日時：平成30年7月12日(木) 13:30～15:30

場所：サンポートホール高松 64会議室

- 内容：1. 各部会の最終確認
2. アルバイト・スタッフの確認
3. その他

○参考：第 53 回地盤工学研究発表会

1) 日 時 : 平成 30 年 7 月 24 日 (火) ～26 日 (木)

2) 会 場 : サンポートホール高松

(総合受付、研究発表会、技術展示、特別講演会等)

レグザムホール (香川県県民ホール) 小ホール棟 (研究発表会)

JR ホテルクレメント高松 (交流会)

3) 主な内容 :

①. 研究発表会

・日 時 : 7 月 24 日 (火) 9:00～18:00

25 日 (水) 9:00～16:30

26 日 (木) 9:00～15:00

・会 場 : サンポートホール高松

・発表論文数 : 1,179 件

・参加登録者 : 2,069 名

②. 技術展示

・日 時 : 7 月 24 日 (火) 9:00～18:00

25 日 (水) 9:00～16:30

26 日 (木) 9:00～15:00

・会 場 : サンポートホール高松 1 階 展示場、市民ギャラリー、
コミュニケーションプラザ

・出展数 : 56 ブース (59 団体)

・内 容 : 材料、調査・試験法、解析法、設計・施工法等に関する実物・模型・
ビデオなどによる最新技術の展示紹介および意見交換

・来場者数 : 延べ約 3,500 人

③. 「平成 30 年 7 月豪雨による地盤災害緊急調査報告」

・日 時 : 7 月 25 日 (水) 17:00～18:30

・会 場 : サンポートホール高松 大ホール

・来場者数 : 約 1,200 人

④. 市民向け行事「地盤品質判定士による住宅地盤相談会」

・日 時 : 7 月 24～25 日 9:00～17:00 (26 日は 14:00 終了)

・会 場 : サンポートホール高松 55 会議室

⑤. 見学会

- ・日 時：7月25日（水） 12:50～16:30
- ・場 所：庵治牟礼 石の民俗資料館、屋島
- ・参加費：無料
- ・参加者：10名

⑥. 交流会

- ・日 時：7月25日（水） 19:00～20:30
- ・場 所：JR ホテルクレメント高松 飛天の間
- ・参加費：7,000円（一般）、3,000円（学生）
- ・参加者：459名

2. 支部主催事業

(1) 平成 30 年度学術講演会

- 日 時：平成 30 年 10 月 19 日（金）13：30～15：40
- 場 所：サンポートホール高松 61 会議室
- 講演内容：地域を支える道路・港湾インフラと今後の展開
- 内 容：
 - 演 題：「地域の安全で快適便利な暮らしを支える道路整備」
 - 講 師：四国地方整備局中村河川国道事務所 伊賀所長

 - 演 題：「高知の“みなと”でつながる地域」
 - 講 師：四国地方整備局高知港湾・空港整備事務所 高阪所長
- 参加者：76 名

(2) 「地盤のモデル化と蛇籠構造物について考える」講習会

- 日 時：平成 30 年 9 月 5 日（木）13：20～17：00
- 場 所：サンポートホール高松 61 会議室
- 講演内容：
 - 演 題：地盤のモデル化：粒状体と連続体
 - 講 師：京都大学 防災研究所 渦岡 良介

 - 演 題：ネパール地震による蛇籠道路擁壁の被害調査と耐震性の評価
平成 30 年 7 月豪雨による高知地区の被害報告
 - 講 師：高知大学 原 忠
- 参加者：59 名

(3) 平成 30 年 7 月豪雨による四国地方の地盤災害に関する特別講演会

- 日 時：平成 31 年 1 月 31 日（木）13：00～18：30
- 場 所：サンポートホール高松 61 会議室
- 講演内容：
 - 演 題：愛媛県内の土砂災害の発生状況と特徴
 - 講 師：愛媛大学 森 伸一郎

 - 演 題：国道 56 号における土砂災害状況と復旧について
 - 講 師：国土交通省 四国地方整備局 秋山 慎吾

演 題：高知県内の土砂災害状況と発生機構について

講 師：(株)地研 中島 昇

演 題：高知道立川トンネル坑口付近での大規模斜面崩壊と復旧計画について

講 師：西日本高速道路(株)四国支社 久保井 泰博

演 題：愛媛県内の河川堤防の被害状況と発生機構について

講 師：愛媛大学 岡村 未対

演 題：愛媛県内のため池の被害状況と発生機構について

講 師：愛媛大学 小林 範之

演 題：土砂災害に対する防災・減災上の課題と対策について

講 師：香川大学 長谷川 修一

○参加者：100名

(4) 平成30年度技術研究発表会

○日 時：平成30年11月9日(金)～10日(土)

○場 所：うずしお会館

○優秀発表者：第Iセッション 管原大介(株)四電技術コンサルタント)

第IIセッション 岩瀬誠司(株)第一コンサルタンツ)

第VIセッション 来島尚樹(徳島大学)

第VIIIセッション 西村大輝(高知大学)、林あかね(徳島大学)

○プログラム：

11月9日(金曜日) 9:30～9:40 開会挨拶 徳島大学 上野 勝利

9:40～11:00 セッションI 斜面と維持管理2

座長：小林昌弘(基礎建設コンサルタント)

1. 讃岐山脈南麓部におけるDEMを利用した地すべり緩斜面の地形量の特徴

○菅原大介(株)四電技術コンサルタント)、長谷川修一(香川大学)、野々村敦子、藤川聡(株)四電技術コンサルタント)

2. 和泉層群で発生した地すべり性崩壊の斜面変動に関する考察

○武内 周(株)ウエスコ)、安藤秀一、三谷康博

3. 四国における切土のり面掘削によって発生する酸性土の分布と成因

○伊藤博信(西日本高速道路エンジニアリング四国(株))、長谷川修一(香川大学)、青井大典

4. 中央構造線が隣接するのり面における地下水の影響評価
○井関奨人（西日本高速道路エンジニアリング四国㈱）、内田純二、伊藤博信、藤田大介
5. 地すべりの維持管理における性能設計の提案
○須賀幸一（㈱芙蓉コンサルタント）、山本信一、中藤亮太、藤田直人、大政洋人
6. 地すべりにおける簡易な変形予測の事例
○中藤亮太（㈱芙蓉コンサルタント）、須賀幸一、山本信一、藤田直人、大政洋人
7. 異なる地すべり対策施設等を活用した人材育成と技術の伝承
○内田純二（西日本高速道路エンジニアリング四国㈱）、伊藤博信、古川清司、永井基貴、平田篤嗣
8. 愛媛地域におけるインフラメンテナンスを取り巻く諸環境について
○山本浩司（愛媛大学）、森脇 亮、全 邦釘

11：10～12：30 セッションⅡ 斜面と維持管理 2

座長：能野 一美（四電技術コンサルタント）

9. ネパール国における耐震性の向上に着目した蛇籠擁壁施工に関する基礎的調査
原 忠（高知大学）、○芝原 隆、西 剛整（㈱CPC）、中澤博志、木村 瞬（㈱エイト日本技術開発）、末次大輔（佐賀大学）、下村昭司（大旺新洋）、西村義幸（四万川総合建設㈱）
10. 蛇籠擁壁の耐震性に関する実大実験の解析的評価
○西 剛整（㈱CPD）、原 忠（高知大学）、末次大輔（佐賀大学）、柴原 隆（高知大学）
11. 2018年北海道胆振東部地震における崩壊斜面の崩壊土砂流動特性
○川崎一彦（愛媛大学）、森伸一郎
12. 平成30年7月豪雨により発生した地すべりについての一考察
○公文海斗（㈱第一コンサルタンツ）、西川 徹、須内寿男
13. 平成30年7月豪雨における降雨と災害発生状況に関する一考察
○高橋昌也（㈱第一コンサルタンツ）、片岡寛志
14. 水圧による山留擁壁被災の原因とメカニズムに関する一考察
○岩瀬誠司（㈱第一コンサルタンツ）、芝田和仁
15. 平成30年7月の西日本豪雨による斜面崩壊事例
○中根久幸（㈱地研）、中島 昇、井上亮之介、山中仁人、吉岡 恵（耕営技術コンサルタント㈱）、野々村敦子（香川大学）、原 忠（高知大学）
16. Investigation of Slope Failure Using Inclinometers
Based on LPWA due to Heavy Rain in July 2018
○ホリアダマポトラ（愛媛大学大学院）、安原英明（愛媛大学理工学研究科）、木下尚樹

13:20~14:30 セッションⅢ 災害事例 座長：中島 昇（地研）

17. 熊本城被災石垣における伝播速度測定による緩み域検出の試み
山中 稔（香川大学）、○中川瑞希、嘉村哲也（熊本市熊本城調査研究センター）、
杉本知史（長崎大学）
18. 城郭石垣に用いる栗石粒径の画像解析による計測について
山中 稔（香川大学）、○三原弘輝、中川瑞希、嘉村哲也（熊本市熊本城調査
研究センター）、杉本知史（長崎大学）
19. 2018年北海道胆振東部地震で観測された震源域近傍の強震動の特徴
○森伸一郎（愛媛大学）、小林 巧
20. 墓石挙動調査による2018年大阪府北部地震における揺れ評価
○小林 巧（愛媛大学）、森伸一郎
21. ネパール・ゴルカ地震でのカトマンズ市集中被害地域の振動特性
○馮 金戈（愛媛大学）、森伸一郎、小林 巧
22. 地盤の常時微動計測による地震時最大加速度予測法に関する検討 ～2015年ネパー
ル地震カトマンズ盆地におけるデータを中心に～
○猿渡 広太（愛媛大学）、ネトラ P.バンダリ（愛媛大学）
23. 西日本豪雨時の肱川氾濫で浸水した二地区の浸水調査
○陣内尚子（愛媛大学）、岡村未対

14:40~15:50 セッションⅣ 岩盤 座長：須賀 幸一（芙蓉コンサルタント）

24. Numerical Investigation for Estimation of Rock Temperature in the Lahendong
Geothermal Reservoir, North Sulawesi, Indonesia
○M. Qarinur（愛媛大学）、安原英明、木下尚樹
25. メタンハイドレート回収を想定した解析モデルによる海底地盤内流体の挙動評価
○孫 源峻（愛媛大学大学院）、安原英明、木下尚樹
26. Study of sediment morphodynamic at the tourist resort of Saly..
○DIAGNE Guy M. N（愛媛大学）、安原英明、木下尚樹
27. 亀裂発生・進展解析モデルによる岩盤の性状変化解析
○津曲康輝（愛媛大学）、安原英明、木下尚樹
28. 高温・高圧条件下の鉱物飽和水を使用した花崗岩不連続面の透水実験
○廣恵なつ美（愛媛大学）、安原英明、木下尚樹
29. 亀裂性岩盤の保水性および流体浸透性評価を目的とした室内試験
○大内健太郎（愛媛大学）、安原英明、木下尚樹
30. モルタル円柱供試体の室内水圧破碎実験
○柁原こころ（愛媛大学）、安原英明、木下尚樹

16:00~17:10 セッションV 変形強度・地盤改良

座長：Netra P. Bhandary (愛媛大学)

31. 繰返し载荷を受ける斜面上基礎の支持力特性
○六車佳仁(香川高等専門学校)、小竹 望
32. Plant-Derived Urease for Enzyme Mediated Calcite Precipitation
○Baiq Heny. S (愛媛大学大学院)、安原英明、木下尚樹
33. 硬化遅延剤が石膏固化土の強度に及ぼす影響
○塩入潤一郎(香川高等専門学校)、小竹 望、佐野博昭(大分工業高等専門学校)
34. 短繊維補強砂の強度変形特性に与える粒径の影響
○清水達矢(香川高等専門学校)、小竹 望
35. 圧密排水三軸試験と定応力一面せん断試験による強度定数の比較
○谷本和佳奈(高知工業高等専門学校)、伊月優星、岡林宏二郎、向谷光彦(香川高等専門学校)、國元天宏、濱 賢治(㈱ダイソク)
36. 地山補強土工における受圧板の連結効果
○三宅翔太(香川高等専門学校) 小竹望、沓澤 武(日本基礎技術㈱)、佐藤栄介
37. 高圧噴射攪拌工法の施工管理例 — 平成 29-30 年度越知丙地区改良工事 —
長澤 一(ミタニ建設工業㈱)、杉本貴明、村上喜代治(㈱不動テトラ)○出野智之

17:20~18:30: セッションVI 盛土・堤防 座長 中根 久幸 (地研)

38. 重信川堤防陥没箇所における堤体表面形状の計測と経時変化
○山中大智(愛媛大学)、今村 衛、岡村未対、陣内尚子
39. 高知県ため池堤体土の液状化特性に関する基礎的研究
原 忠(高知大学)、棚谷南海彦、○芳本健太(高知大学)、靱山 嵩(新日鐵住金㈱)、及川 森、西山輝樹、黒田修一(㈱エイト日本技術開発) 栗林健太郎、坂部晃子
40. 柔な表層補強材による盛土の耐震補強
○溝渕一匡(香川高等専門学校)、小竹 望、辻慎一郎(前田工織㈱)、横田善弘
41. 鋼材によるため池堤の耐震補強効果の検証—その1 地盤材料の選定と液状化特性—
原 忠(高知大学)、○棚谷南海彦、芳本健太、靱山 嵩(新日鐵住金㈱)、及川 森、西山輝樹、吉原 健郎、西山輝樹、黒田修一(㈱エイト日本技術開発)、栗林健太郎、坂部晃子
42. 鋼材によるため池堤の耐震補強効果の検証
—その2 振動台模型実験による鋼矢板補強効果の検証—
○靱山 嵩(新日鐵住金㈱)、及川 森、吉原健郎、西山輝樹、原 忠(高知大学)、棚谷南海彦、芳本健太、黒田修一(㈱エイト日本技術開発) 栗林健太郎、坂部晃子
43. 部分浮き矢板を有する堤防の遠心場振動実験
○来島尚樹(徳島大学)、肥前大樹、岩崎嵩史、上野勝利

44. 堤防直下地盤におけるパイプ内部の流速と土粒子の移動に着目した遠心模型実験
○田村元希（愛媛大学）、岡村未対、金子奨一郎

11月11日（土曜日）

9:00~10:20 セッションⅦ 液状化 座長：中川 頌将（基礎建設コンサルタント）

45. 動的一面せん断試験による液状化強度試験の精度向上に関する研究
○伊月優星（高知工業高等専門学校）、谷本和佳奈、岡林宏二郎
46. Experimental Verification of Gravel Drain Performance as
Liquefaction Countermeasure —Effect of Soil Permeability—
○Utari Sriwijaya Minaka（愛媛大学）、小野耕平、岡村未対
47. LP-LiC 工法により改良された埋立地の地震動と間隙水圧観測結果に関する考察
原 忠（高知大学）、○林 聖淳、中山優里香、沼田淳紀（飛鳥建設㈱）
48. スラスト力を受ける埋設管の液状化時変位挙動の実験的検討
○星川拓哉（愛媛大学）、小野耕平、岡村未対
49. 熊本地震における液状化地盤の特徴 その1—液状化発生箇所の
地形・地質特性と地下水位の関係—
○北澤聖司（㈱第一コンサルタンツ）、原 忠（高知大学）、中島 昇（㈱地研）、柴原
隆（高知大学）、中山優里香
50. 熊本地震における液状化地盤の特徴 その2—貫入試験から考察する
液状化の発生要因—
原 忠（高知大学）、○中山優里香、柴原 隆、北澤聖司（㈱第一コンサルタンツ）、
中島 昇（㈱地研）
51. 熊本地震における液状化地盤の特徴 その3—液状化発生要因の妥当性について—
○中島 昇（㈱地研）、原 忠（高知大学）、北澤聖司（㈱第一コンサルタンツ）、
中山優里香（高知大学）、柴原 隆

10:30~11:50 セッションⅧ 調査・その他 座長 出野 智之（不動テトラ）

52. 道路閉塞率の算出を目的とした木造住宅の倒壊シミュレーション（その1）
—実在住宅とモデルの固有周期の比較—
原 忠（高知大学）、○西村大輝、中村友紀恵、山田雅行（㈱ニュージェック）、羽田
浩二、山崎正明（中土佐町役場）
53. 道路閉塞率の算出を目的とした木造住宅の倒壊シミュレーション（その2）
—道路閉塞率の算出—
原 忠（高知大学）、○中村友紀恵、西村大輝、山田雅行（㈱ニュージェック）、羽田
浩二、山崎正明（中土佐町役場）

54. 道路盛土における圧密沈下と維持管理

○藤田大介（西日本高速道路エンジニアリング四国）、伊藤博信、内田純二、井関奨人

55. 車両走行振動を利用した道路斜面の脆弱性評価

○佐古昇大（愛媛大学）、森伸一郎

56. 地中レーダを用いた水面の検出

○寺田真理子（愛媛大学）、加藤祐悟（㈱カナン・ジオリサーチ）、篠原 潤、Elvis Anup Shukla（愛媛大学）

57. 原位置透水試験装置における測定可能範囲について

－地下水面より上の地盤を対象とした透水試験方法を対象に－

○能野一美（㈱四電技術コンサルタント）、向谷光彦（香川高等専門学校）、久保啓徳、小笠原勇一、藤川 聡（㈱四電技術コンサルタント）、

58. 静電容量型水位計による地盤内空洞の水位変化計測とSWSの結果について

○林あかね（徳島大学）、中村謙太、上野勝利

投稿者：58名

参加者：30名

（5）平成30年度見学会

○日 時：平成30年11月10日（土） 13:00～16:00

○見学場所：土工工事、橋梁工事（吉野川大橋）

○参加者：25名

(6) 地盤工学会四国支部 地盤地震防災研究委員会

1) 第 20 回地盤地震防災研究委員会

- ・日時：平成 30 年 11 月 11 日（水） 14:00～17:00
- ・場所：あわぎんホール 4F 第 4 会議室（徳島市藍場町 2 丁目 14 番地）
- ・議事：
 1. 話題提供：「道路盛土における L2 地震対応について」 古市委員
 2. 活動報告（各県）
 - 液状化に伴う実沈下量データの収集状況
 - 現在の活動状況
 3. その他
 - 委員の変更について（入会及び退会）
 - 次回予定
- ・参加者：21 名

2) 第 21 回地盤地震防災研究委員会

- ・日時：平成 30 年 10 月 23 日（火） 14:00～17:00
- ・場所：サンポートホール高松 64 会議室
（高松市サンポート 2-1 高松シンボルタワー 6F）
- ・議事：
 1. 話題提供
 - (1) 「港湾の施設の技術上の基準 改定について」 田村委員
 - (2) 「平成 28 年 3 月に改定の河川堤防の耐震性能照査指針・点検マニュアルについて」 野谷委員
 2. 活動報告（各県）
 - 現在の活動状況
 3. その他
- ・参加者：10 名

3. 支部後援事業

(1) 平成30年度 公益社団法人日本地すべり学会関西支部 講習会

○主 催：(公益社団法人)日本地すべり学会 関西支部

○日 時：平成30年6月15日(金) 10:00～17:00

○場 所：Progresso eventroom

〒790-0012 愛媛県松山市湊町4丁目3-10 電話：0120-952-183

「防災分野へのGIS技術の利活用」

----- プログラム -----

10:00～10:10 開会挨拶 高知大学 笹原 克夫

10:10～16:50 QGIS演習(12:00～13:00 昼食)

QGISを用いた地すべり地形解析 国土防災技術(株) 龍見 栄臣

16:50～17:00 閉会挨拶 (株)地研 中根 久幸

※レベル：国、県、コンサルタント等の技術者を対象にした、GISに関する初歩の操作技術を講習する場とします。よって、座学と演習を併用する形式とします。

※下記スペック以上のノートパソコンを各自ご用意下さい。

CPU：Intel Core i シリーズまたは同等のものメモリ：4GB以上

OS：Windows 7以上(XPは不可)

後援 (公益社団法人)砂防学会 中四国支部

(一般社団法人)斜面防災対策技術協会 四国支部

(一般社団法人)建設コンサルタント協会 四国支部

(公益社団法人)地盤工学会 四国支部

(2) 「名取トンネル地すべりの被災と対策」

○主 催：公益社団法人 日本地すべり学会 関西支部

○後 援：愛媛県、公益社団法人 砂防学会 中国四国支部、公益社団法人 地盤工学会 四国支部、一般社団法人 斜面防災対策技術協会 四国支部、一般社団法人 建設コンサルタント協会 四国支部、四国地質調査業協会

○日 時：平成30年10月26日(金) 12:30～17:00 : 見学会

平成30年10月27日(土) 8:30～15:00 : 特別講演、話題提供

○場 所：名取トンネル [愛媛県西宇和郡伊方町]

ハーバープラザホテル・寿の間 [八幡浜市仲之町]

○受講料：見学会(一般：4,000円,学生：2,000円)

特別講和・話題提供(一般：3,000円,学生：1,500円)

○CPD：一般社団法人建設コンサルタント協会認定CPD プログラム
(見学会4.5単位、特別講演・話題提供5.0単位)

○講演：

・10月26日

14:30～17:00 名取トンネル地すべり 現地見学

・10月27日

8:30～9:30 特別講演「地震時地すべり・斜面崩壊ハザード解析例

～南海トラフ巨大地震による四国地域主要道路

周辺の地すべり地形斜面崩壊ハザード～」

愛媛大学社会共創学部・環境デザイン学会 准教授

ネトラ・プラカシュ・バンダリ 氏

9:30～12:00 話題提供

(1) 佐田岬半島の地形・地質

(株)ナイバ 木村 一成 氏

(2) 近接する地すべり防止地区「名取地区」の概要

(株)愛媛建設コンサルタント 田窪 裕一 氏

(3) 名取トンネル地すべり災害復旧と概要

(株)エスイー 原田 敏雄 氏

(4) 名取新設トンネルと地すべり概要

日本工営(株) 柴崎 宣之 氏

(5) パネルディスカッション

司会：(株)愛媛建設コンサルタント 増田 信

パネラー：特別講演者と話題提供者

(3) コンクリートセミナー ―これからの時代に求められるコンクリート技術の展望―

○主催：一般社団法人セメント協会

○後援：公益社団法人土木学会四国支部、公益社団法人地盤工学会四国支部、一般社団法人日本建築学会四国支部、公益社団法人日本コンクリート工学会四国支部、一般社団法人日本建設業連合会四国支部、一般社団法人建設コンサルタント協会四国支部、NPO 住宅地盤品質協会、一般社団法人香川県建設業協会、全国生コンクリート工業組合連合会四国地区本部

○日時：平成31年2月7日（木）9:55～16:30

○会場：かがわ国際会議場 [〒760-0019 香川県高松市サンポート2-1]

○受講料：10,000円

○CPD：土木学会認定CPD プログラム (JSCE18-1156 5.0 単位)

CPDS：全国施工管理技士会連合会CPDS認定プログラム (495980 6unit)

○講演：

- 9:55～10:00 開会の挨拶
(一社)セメント協会 コンクリート普及専門委員会 委員長 朝倉 秀明 氏
- 10:00～11:00 コンクリートの生産性向上と品質確保
J R東日本コンサルタンツ株式会社 技術統括
東日本旅客鉄道株式会社 顧問 石橋 忠良 氏
- 11:10～12:10 コンクリート施工における生産性向上技術
鹿島建設株式会社 土木管理本部 土木技術部長
坂田 昇 氏
- 13:10～14:10 四国におけるインフラの維持管理と新技術の実装への取り組み
国立大学法人香川大学 創造工学部
建築・都市環境コース准教授 岡崎 慎一郎 氏
- 14:20～15:20 高速道路資産の点検から保全の現状と今後
西日本高急速道路メンテナンス中国株式会社
代表取締役社長 角田 直行 氏
- 15:30～16:30 コンクリート構造物の延命化の課題と展望
近未来コンクリート研究会 代表 十河 茂幸 氏

(4) 第7回 防災・危機管理人材養成シンポジウム

～四国防災・危機管理プログラム成果報告及び第5期生終了記念～

- 主催：四国防災共同教育センター
(四国防災共同教育センターは、香川大学、徳島大学、香川県、徳島県が構成員)
- 共催：香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構
徳島大学 環境防災研究センター
- 後援：国土交通省四国地方整備局、公益社団法人 土木学会 四国支部、
公益社団法人 地盤工学会 四国支部、日本技術士会四国本部、
香川県技術士会
- 日時：平成31年3月8日(金) 13:15～16:50
- 場所：香川大学工学部 林町キャンパス 講義棟 3301講義室
- 内容：
- 13:15～13:30 主催者挨拶
香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構長
吉田秀典
徳島大学 理事・副学長(研究担当) 佐々木卓也
- 13:30～13:40 来賓挨拶 国土交通省四国地方整備局長 平井秀輝
- 13:40～14:00 四国防災・危機管理プログラム成果報告

- 四国防災共同教育センター長（香川大学 副学長） 白木渡
- 14:00～14:30 災害・危機対応マネージャーの活動報告
第3期修了生 整理収納教育士・スマートビーンズ 道久礼子
第2期修了生 株式会社ファルコン・徳島市消防団東富田分団
大宮佐知子
- 14:30～15:10 第5期修了生の成果発表
行政・企業コース代表者 2名
災害医療コース代表者 1名
- 15:30～16:45 特別講演「南海トラフ巨大地震等大規模災害に備えて
～静岡県地震・津波対策～」
講師：静岡県 危機管理部 理事（防災対策担当） 石垣俊幸
- 16:45～16:50 閉会挨拶
四国防災共同教育センター 副センター長
（徳島大学環境防災研究センター長 教授） 中野晋

○その他：プレスリリース有

4. 各県地盤工学研究会事業

(1) 徳島県地盤工学研究会

1) 平成30年度 地盤と防災・環境に関するシンポジウム

- ・日時：平成30年10月12日（金）13:00～
- ・場所：徳島大学工学部 工業会館 メモリアルホール
- ・特別講演の内容：

特別講演1「本県における社会資本整備の現状と課題」

「7月に発生した三好市における豪雨災害の報告」

徳島県 県土整備部 建設管理課 課長 徳永 雅彦

特別講演2「表層型メタンハイドレートを対象とした海底地盤調査」

「平成30年北海道胆振東部地震による地盤災害調査報告」

北見工業大学 工学部社会環境工学領域 教授 山下 聡

- ・一般技術発表（数編）
- ・参加者：42名（会員:14名，非会員：22名，学生：6名）

2) 第1回 特別講演会

- ・日時：平成31年3月29日（金）15:30～17:00
- ・場所：徳島大学工学部 工業会館 メモリアルホール
- ・内容：「土の骨格構造概念より土の複雑な挙動を解釈する」
- ・講師：名古屋大学 大学院工学研究科 土木工学専攻 教授 中野 正樹
- ・参加者：20名（会員:10名，非会員：10名，学生：－）

(2) 香川県地盤工学研究会

1) 第1回役員会【メール審議済】

- ・日時：平成30年9月13日（木）
- ・議事：
 - ・平成29年度事業報告
 - ・平成30年度役員について
 - ・平成30年度事業計画
 - ・その他

2) 主催事業

○第1回学術講演会

- ・日時：平成30年11月21日（水）13：35～16：40
- ・テーマ：「道路と地盤の関わり」
- ・会場：香川県立ミュージアム 研修室
- ・参加費：1,000円
- ・内容：
 - ①本四架橋の建設（地盤に関係する内容（下部工等））と最近の話題（盛土の耐震） 本州四国連絡高速道路株式会社保全部 次長 福永 勸
 - ②盛土と舗装構造の点検・診断自動化技術の開発
NPO法人 地盤防災ネットワーク 理事長，岐阜大学 客員教授 村田 芳信
- ・参加者数：29名

○第2回学術講演会

- ・日時：平成30年11月29日（木）13：40～15：50
- ・テーマ：「やさしく解説！地盤工学の最新トピックス」
- ・会場：香川高等専門学校 専攻科棟2F ミックスメディア室
- ・参加費：無料
- ・内容：
 - ①破砕性土の液状化特性と土のエネルギー資源化技術の開発
香川高等専門学校 准教授 荒牧 憲隆
 - ②住宅地の液状化被害の特徴と対策
長岡技術科学大学大学院 教授 大塚 悟
- ・参加者数：43名

○第3回学術講演会

- ・日時：平成31年3月20日（水）15：00～16：40
- ・テーマ：「資源循環と地震防災への取組み(香川高専の10年)」
- ・会場：香川県立ミュージアム 研修室
- ・参加費：無料
- ・内容：
 - ①資源循環と地震防災への取組み(香川高専の10年)
香川高等専門学校 教授 小竹 望
- ・参加者数：31名

○四国横断自動車道 吉野川大橋 建設工事現場 見学会

- ・ 日程：平成31年2月13日（水）12：30～17：00
- ・ 見学場所：四国横断自動車道吉野川大橋建設工事現場
（徳島市東沖洲1丁目3番地10）
- ・ 行程：香川高専高松キャンパス 集合・バス出発 12:30
事業概要説明（会議室），現場見学 バス到着 14:00
バス出発 15:30
香川高専高松キャンパス バス到着・解散 17:00
- ・ 参加費：無料
- ・ 参加者数：39名

3) 共催事業

○三軸試験実技習得セミナー（BASICコース）

- ・ 主 催：香川高等専門学校，（公財）かがわ産業支援財団
- ・ 共 催：（公社）地盤工学会四国支部香川県地盤工学会
- ・ 日 時：平成 30 年 8 月 22 日(水) 9：00～15:00
- ・ 場 所：香川高等専門学校 高松キャンパス内
- ・ 内 容：①三軸試験による土の強度定数 c ， ϕ
②三軸試験の基本操作と実際
③三軸試験による静的・動的強度
④試験結果の整理と実務への適用
- ・ 講 師：（一般財）地域地盤環境研究所・本郷 隆夫，平野 浩二，
（株）ナイバ 多田 健，（株）ダイソク・濱 賢治，
香川高等専門学校・向谷 光彦，岡崎芳行
- ・ 参加者数：20 名

○三軸液状化試験ライブ（ADVANEK コース）

- ・ 主 催：香川高等専門学校，（公財）かがわ産業支援財団
- ・ 共 催：（公社）地盤工学会四国支部香川県地盤工学会
- ・ 日 時：平成 30 年11月2日(金) 10：00～15:30
- ・ 場 所：香川高等専門学校 高松キャンパス内
- ・ 内 容：①三軸液状化試験とは
②三軸試験の基本操作と実際
③三軸試験による液状化強度の同定
④試験結果の整理と実務への適用

- ・講師：(一般財)地域地盤環境研究所・本郷 隆夫, 平野 浩二
(株)ダイソク・濱 賢治, 香川高等専門学校・向谷 光彦, 岡崎芳行
- ・参加者数：16 名

○JGS1319-2017 に基づいた原位置透水試験法の展開（実践力養成コース）

- ・主催：香川高等専門学校, (公財)かがわ産業支援財団
- ・共催：(公社)地盤工学会四国支部香川県地盤工学研究会
- ・日時：平成 30 年11月27日(火) 10:00～16:00
- ・場所：香川高等専門学校 高松キャンパス内
- ・内容：①JGS1319-2017に制定された試験法の概説
②室内モデル地盤における浸透現象の把握と基礎知識
③屋外における標準的な原位置透水試験の実施
④ハンドオーガー孔を利用した原位置透水試験の試行
- ・講師：(株)四電技術コンサルタント・能野一美, (株)ナイバ・多田 健,
(株)ダイソク・濱 賢治, 久保慶徳, 香川高等専門学校・向谷光彦,
岡崎芳行
- ・参加者数：11 名

(3) 高知県地盤工学研究会

1) 第43回(平成30年度) 高知県地盤工学研究会 講演会

○演題：「四国地方整備局及びNEXCO総研の災害への取り組み」

○日時：平成30年9月27日

○会場：(一財)高知県教育会館 高知城ホール

○内容：

「四国地方整備局における南海トラフ地震への備え(仮)」

国土交通省 四国地方整備局 企画部防災課 課長 坂井 剛

「災害事例の紹介と得られた教訓(仮)」

株式会社高速道路総合技術研究所 道路研究部 斜面防災研究担当部
長 横田 聖哉

○CPD：3.5単位

○参加者：35名

○テキスト代：1,000円

2) 第44回(平成30年度) 高知県地盤工学研究会 講演会

○日時：平成30年11月28日

○会場：ちより街テラス

○内容：「斜面安定対策に役立つ地形・地質の見極め方」

岐阜大学客員教授 上野 将司

○CPD：3.5単位

○参加者：39名

○テキスト代：2,000円

3) 第45回(平成30年度) 高知県地盤工学研究会 現地見学会

○日時：平成31年1月11日

○見学場所：五台山トンネル

○管理者：国土交通省四国地方整備局土佐国道事務所

○内容：高知東部自動車道の平成32年度開通予定区間内 五台山トンネルでの現場見学

○CPD：1.5単位

○参加者：22名

○保険代：500円

(4) 愛媛県地盤工学研究会

1) 共催行事

無し

2) 主催行事

○平成30年度愛媛県地盤工学研究会第一回学術講演会

- ・日時：平成30年7月23日（月）16：10～17：00
- ・場所：愛媛大学工学部講義棟1階EL13
- ・内容：「巨大人工島の沈下予測と対策」
北海道大学大学院 教授 渡部要一
- ・参加者：30名

○平成30年度愛媛県地盤工学研究会第二回学術講演会

- ・日時：平成30年11月29日（木） 16：00～18：00
- ・場所：愛媛大学校友会館2階サロン
- ・内容：①「Biogrout: a microbial-based grouting material for ground improvement」
Guangdong Technion Israel Institute of Technology Varenyam Achal
- ②「自然に学ぶ現地の微生物を利用した地盤固化技術」
北海道大学 川崎了
- ③「液状化時の埋設パイプラインの変位特性に関する研究」
愛媛大学 小野耕平
- ・参加者：36名

第2号議案 平成30年度 支部収支決算報告(案)

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで
 四国支部（平成30年度）

(円)

科 目	公益目的事業会計						法人会計	合計
	公1	公2	公3	公4	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
① 事業収益	0	530,500	205,000	0	0	735,500	0	735,500
調査研究・基準事業収益(公2)	0	530,500	0	0	0	530,500	0	530,500
学術講演会費収益	0	0	0	0	0	0	0	0
見学会収益	0	33,000	0	0	0	33,000	0	33,000
技術研究発表会収益	0	267,000	0	0	0	267,000	0	267,000
研究会助成金収益	0	230,500	0	0	0	230,500	0	230,500
技術推進事業収益(公3)	0	0	205,000	0	0	205,000	0	205,000
講習会収益	0	0	205,000	0	0	205,000	0	205,000
② 雑収益	0	0	0	0	164,007	164,007	0	164,007
受取利息	0	0	0	0	7	7	0	7
雑収益	0	0	0	0	164,000	164,000	0	164,000
③ 他会計からの繰入額	0	0	0	0	6,805,957	6,805,957	0	6,805,957
本部交付金	0	0	0	0	6,805,957	6,805,957	0	6,805,957
経常収益計	0	530,500	205,000	0	6,969,964	7,705,464	0	7,705,464
(2) 経常費用								
① 事業費	0	1,184,669	407,609	4,950	0	1,597,228	0	1,597,228
調査研究・基準事業費(公2)	0	1,184,669	0	0	0	1,184,669	0	1,184,669
学術講演会費	0	21,350	0	0	0	21,350	0	21,350
見学会費	0	0	0	0	0	0	0	0
技術研究発表会費	0	275,597	0	0	0	275,597	0	275,597
研究会助成金支出	0	856,028	0	0	0	856,028	0	856,028
研究事業支出	0	31,694	0	0	0	31,694	0	31,694
技術推進事業費(公3)	0	0	407,609	0	0	407,609	0	407,609
講習会費	0	0	173,148	0	0	173,148	0	173,148
国内・海外調査およびセミナー・報告会	0	0	234,461	0	0	234,461	0	234,461
表彰関連事業費(公4)	0	0	0	4,950	0	4,950	0	4,950
表彰事業	0	0	0	4,950	0	4,950	0	4,950
② 管理費	0	1,055,536	125,680	0	0	1,181,216	0	1,181,216
借入費	0	450,000	50,000	0	0	500,000	0	500,000
会議費	0	75,202	9,400	0	0	84,602	0	84,602
旅費・交通費	0	198,083	24,760	0	0	222,843	0	222,843
通信費	0	62,690	7,836	0	0	70,526	0	70,526
印刷費製本費	0	34,569	4,311	0	0	38,880	0	38,880
IP管理費	0	59,597	7,449	0	0	67,046	0	67,046
雑費	0	175,395	21,924	0	0	197,319	0	197,319
経常費用計	0	2,240,205	533,289	4,950	0	2,778,444	0	2,778,444
当期経常増減額	0	△ 1,709,705	△ 328,289	△ 4,950	6,969,964	4,927,020	0	4,927,020
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	△ 1,709,705	△ 328,289	△ 4,950	6,969,964	4,927,020	0	4,927,020
一般正味財産期首残高								7,098,829
一般正味財産期末残高								12,025,849
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額								0
指定正味財産期首残高								0
指定正味財産期末残高								0
III 正味財産期末残高								12,025,849

四国支部 正味財産増減計算書
平成30年4月1日から平成31年3月31日まで
四国支部（平成30年度）

(円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 事業収益	735,500	1,038,500	△ 303,000
調査研究・基準事業収益（公2）	530,500	590,500	△ 60,000
学術講演会収益	0	80,000	△ 80,000
見学会収益	33,000	30,000	3,000
技術研究発表会収益	267,000	240,000	27,000
研究会助成収益	230,500	240,500	△ 10,000
技術指導収益	0	0	0
自然災害の調査・研究事業務収益	0	0	0
技術推進事業収益（公3）	205,000	448,000	△ 243,000
講習会収益	205,000	448,000	△ 243,000
海外調査および国際セミナー・報告会	0	0	0
② 雑収益	164,007	192,057	△ 28,050
受取利息	7	57	△ 50
雑収益	164,000	192,000	△ 28,000
③ 他会計からの繰入額	6,805,957	1,620,000	5,185,957
本部交付金	6,805,957	1,620,000	5,185,957
経常収益計	7,705,464	2,850,557	4,854,907
(2) 経常費用			
① 事業費	1,597,228	1,475,675	121,553
調査研究・基準事業費（公2）	1,184,669	1,213,074	△ 28,405
学術講演会費	21,350	151,508	△ 130,158
見学会費	0	8,554	△ 8,554
技術研究発表会費	275,597	227,907	47,690
技術指導費	0	0	0
受託事務手数料	0	0	0
研究会助成金支出	856,028	809,841	46,187
自然災害の調査・研究事業支出	31,694	15,264	16,430
技術推進事業費（公3）	407,609	252,337	155,272
講習会費	173,148	252,337	△ 79,189
海外調査および国際セミナー・報告会	234,461	0	234,461
表彰関連事業（公4）	4,950	10,264	△ 5,314
表彰事業	4,950	10,264	△ 5,314
② 管理費	1,181,216	1,038,636	142,580
備人費	500,000	400,000	100,000
会議費	84,602	18,576	66,026
旅費・交通費	222,843	200,180	22,663
通信費	70,526	66,280	4,246
印刷費製本費	38,880	45,360	△ 6,480
HP管理費	67,046	85,880	△ 18,834
雑費	197,319	222,360	△ 25,041
経常費用計	2,778,444	2,514,311	264,133
当期経常増減額	4,927,020	336,246	4,590,774
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	4,927,020	336,246	4,590,774
一般正味財産期首残高	7,098,829	6,762,583	336,246
一般正味財産期末残高	12,025,849	7,098,829	4,927,020
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	12,025,849	7,098,829	4,927,020

平成31年4月2日

監査報告書

公益社団法人 地盤工学会 四国支部
支部長 大野 裕記 殿

公益社団法人 地盤工学会 四国支部

監事 満石 寿治 

監事 木下 尚樹 

平成30年4月1日から平成31年3月31日までの平成30年度における
会計及び業務の監査を行ない、次のとおり報告する。

1 監査の方法

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧などの必要な監査手続きを実施するとともに、支部事務局から会計監査に関する報告を受け、計算書類につき検討を加えた。
- (2) 業務監査について、支部事務局からの業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧などの必要な監査手続きを実施することによって業務執行の妥当性を検討した。

2 監査結果

- (1) 平成30年度一般会計の正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、支部の収支状況及び財産状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は適正であると認める。
- (3) 支部役員の職務執行に関する不正の行為又は支部規定等に違反する事実はないと認める。

以上

第3号議案 支部規程・支部会計規程の改定（案）

支部規程・支部会計規程の改定（案）

1. 概要

地盤工学会理事会（1/25 開催）において、支部規程の改定方針（内閣府立入検査（H29.10）での口頭指導事項への対応）が審議・承認された。

四国支部では、本部からの改定方針を踏まえた支部規程・支部会計規程（本部理事会の承認が必要なもの）の改定内容について、平成 30 年度第 5 回評議員会にて審議・承認し、本部に結果を報告し、同改定内容について本部理事会（H31.3.15）にて承認を受けている。

このような状況から、支部規程、支部会計規程の改正について審議頂きたい。

2. 支部規程改定方針

本部から提示された支部規程の改定方針は、以下の通りである。

- ① 支部役員の「評議員(会)」を「商議員(会)*¹」に名称変更する
- ② 定数を“若干名”としている支部役員（評議員、幹事）の定数を実情に合わせた人数*²を規定する

※1 土木学会をはじめ、多くの学会が支部役員に使用している

※2 土木学会では、各支部でそれぞれの定員数を規定している

3. 支部規程・内規改定内容

今回の改定概要は、下表の通りである。

名 称	改定概要
支部規程	・ 改定方針の反映 （ 評議員(会)⇒商議員(会)、 役員定員*（商議員：30名以内、幹事：20名以内） ） ・ 電子メール等での委任行為を認めることを追記
支部会計規程	・ 改定方針の反映（評議員(会)⇒商議員(会)）

※商議員（前評議員）及び幹事（地域幹事含む）の人数は、H30 年度役員数（評議員：25 名、幹事：18 名）の+ α 名を上限とする

※商議員数（30 名）については、本部の規程がないため、四国支部正会員（約 300 人）の 10%を目安と考えた

※幹事数（20 名）については、四国四県から 5 名程度選出するものと考えた

※支部役員は、支部長、副支部長、評議員、支部監事、幹事長、幹事であり、顧問、事務局長、事務局員、地域幹事は支部役員ではない（本部確認済み）

4. 備 考

今回、支部規程の改定に伴って、支部の各規程・内規を見直した結果、上記改定の反映以外にも改定が必要な事項が確認されたため、支部の各規程・内規の改定について、平成 30 年度第 5 回評議員会（H31.2.15 開催）にて審議し承認されている。

なお、下表の規程類についても支部規程の改正と合わせて改正し施行（H31.4.22）する。

支部規程類の改定概要一覧表

名 称	改定概要
特別表彰規程	・公益社団法人の記載の追加 ・規程改廃条項の追加
年次表彰規程	・公益社団法人の記載の追加 ・規程改廃条項の追加 ・記載の適正化
技術研究発表会表彰規程	・公益社団法人の記載の追加 ・規程改廃条項の追加
各県地盤工学研究会内規	・記載の適正化
謝金、旅費等支払い内規	・最新の本部規程の反映 ・内規改廃条項の追加 ・記載の適正化
公印等取扱いに関する内規	・改定方針の反映（評議員(会)⇒商議員(会)）
会計規程に関する内規	・内規改廃条項の追加

以 上

第4号議案 平成31年度 支部役員(案)

平成31年度 地盤工学会四国支部役員

: 新役員

役職	氏名	勤務先(役職)および住所	TEL・FAX
支部長	原 忠	高知大学教育研究部自然科学系理工学部 教授 〒780-8520 高知県高知市曙町二丁目5番1号	TEL 088-888-8071 FAX 088-888-8071
副支部長	山中 稔	香川大学 創造工学部創造工学科 教授 〒761-0396 高松市林町2217-20	TEL 087-864-2158 FAX 087-864-2188
"	上野 勝利	徳島大学 大学院社会産業理工学研究部 理工学域 准教授 〒770-8506 徳島県徳島市南常三島町2-1	TEL 088-656-7342 FAX 088-656-7602
"	竹内 孝	一般社団法人日本建設業連合会 四国支部 支部長 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 (株)大林組 四国支店 執行役員支店長 〒760-0007 高松市中央町11-11	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-831-7121 FAX 087-837-3650
顧問	平井 秀輝	国土交通省 四国地方整備局長 〒760-8554 高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎	TEL 087-811-8308 FAX 087-811-8408
"	高橋 陽一	(独)水資源機構 吉野川本部長 〒760-0018 高松市天神町10-1	TEL 087-835-6600 FAX 087-835-6605
"	末澤 等	建設コンサルタンツ協会 四国支部長 〒760-0066 高松市福岡町3-11-22 (株)四電技術コンサルタント 代表取締役社長 〒761-0121 高松市牟礼町牟礼1007-3	TEL 087-851-5881 FAX 087-823-8730 TEL 087-845-8881 FAX 087-887-2205
"	神野 邦彦	四国地質調査業協会 理事長 〒761-8058 高松市上天神町231-1マリッチF1101 (株)愛媛建設コンサルタント 代表取締役 〒790-0036 松山市小栗7丁目11番18号	TEL 087-899-5410 FAX 087-899-5411 TEL 089-947-1011 FAX 089-941-8606
"	長谷川 修一	香川大学 創造工学部創造工学科 防災・危機管理コース 教授 〒761-0396 高松市林町2217-20	TEL 087-864-2155 FAX 087-864-2031
"	大野 裕記	四国電力(株) 執行役員土木建築部長 〒760-8573 高松市丸の内2-5	TEL 087-821-5061 FAX 087-825-3177
商議員	岡村 未対	愛媛大学 大学院理工学研究科 教授 〒790-8577 松山市文京町3	TEL 089-927-9820 FAX 089-927-9820
"	蔣 景彩	徳島大学環境防災研究センター 准教授 〒770-8506 徳島市南常三島町2-1	TEL 088-656-7346 FAX 088-856-7346
"	岡林 宏二郎	高知工業高等専門学校 ソーシャルデザイン工学科 教授 〒783-8508 南国市物部乙200-1	TEL 088-864-5589 FAX 088-864-5589
"	小林 範之	愛媛大学 農学部利水環境工学研究室 教授 〒790-0905 松山市樽味3-5-7	TEL 089-946-9929 FAX 089-946-9929
"	向谷 光彦	香川高等専門学校 建設環境工学科 教授 〒761-8058 高松市勅使町355	TEL 087-869-3921 FAX 087-869-3929
"	吉村 洋	阿南工業高等専門学校 創造技術工学科建設コース 教授 〒774-0017 阿南市見能林町背木265	TEL 0884-23-7186 FAX 0884-23-7199
"	荒瀬 美和	国土交通省 四国地方整備局 企画部長 〒760-8554 高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎	TEL 087-811-8308 FAX 087-811-8408
"	権藤 宗高	国土交通省 四国地方整備局 港湾空港部長 〒760-8554 高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎	TEL 087-811-8331 FAX 087-811-8431
"	北川 政宏	徳島県 県土整備部 副部長 〒770-8570 徳島市万代町1-1	TEL 088-621-2620 FAX 088-621-2864
"	片山 秀樹	香川県 土木部長 〒760-8570 高松市番町4-1-10	TEL 087-832-3521 FAX 087-806-0220
"	杉本 寧	愛媛県 土木部長 〒790-8570 松山市一番町4-4-2	TEL 089-912-2647 FAX 089-912-2653
"	村田 重雄	高知県 土木部長 〒780-8570 高知市丸の内1-2-20	TEL 088-823-9800 FAX 088-823-9263

平成31年度 地盤工学会四国支部役員

: 新役員

役職	氏名	勤務先(役職)および住所	TEL・FAX
"	上田 卓司	西日本高速道路(株)四国支社 建設事業部 技術審査担当部長 〒760-0065 高松市朝日町4-1-3	TEL 087-825-1903 FAX 087-823-3636
"	中廣 政之	四国電力(株) 土木建築部 土木技術グループリーダー 〒760-8573 高松市丸の内2-5	TEL 087-821-5061 FAX 087-825-3177
"	須賀 幸一	(株)芙蓉コンサルタント 技術本部長 〒790-0063 松山市辻町2-38	TEL 089-924-1313 FAX 089-923-5717
"	大内 泰志	(株)四国総合研究所 土木技術部 部長 〒761-0113 高松市屋島西町2109-8	TEL 050-8802-4672 FAX 087-887-0004
"	山本 和彦	四国地質調査業協会 理事 〒761-8058 高松市上天神町231-1マリッチF 1 101 (株)ナイバ 代表取締役 〒760-0062 高松市上町1-3-6	TEL 087-899-5410 FAX 087-899-5411 TEL 087-802-9501 FAX 087-802-9520
"	大石 徹	四国地質調査業協会 〒761-8058 高松市上天神町231-1マリッチF 1 101 (株)雄新地質コンサルタント代表取締役 〒791-1126 松山市大橋町261番地 1	TEL 087-899-5410 FAX 087-899-5411 TEL 089-963-3861 FAX 089-963-3839
"	辻 和秀	建設コンサルタンツ協会 四国支部 理事 〒760-0066 高松市福岡町3-11-22 (株)エイト日本技術開発四国支社 執行役員 四国支社長 〒790-0054 松山市空港通2-9-29	TEL 087-851-5881 FAX 087-823-8730 TEL 089-971-6511 FAX 089-973-3132
"	中屋 亮	一般社団法人日本建設業連合会 四国支部 副支部長 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 大成建設(株) 四国支店 執行役員支店長 〒760-0019 高松市サンポート2-1 高松シンボルタワー19F	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-825-3400 FAX 087-825-3444
"	田中 顕二	一般社団法人日本建設業連合会 四国支部 副支部長 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 西松建設㈱ 四国支店 支店長 〒760-8503 高松市番町3-8-11	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-831-1471 FAX 087-837-4635
"	清水 康次郎	一般社団法人日本建設業連合会 四国支部 副支部長 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 清水建設(株) 四国支店 執行役員支店長 〒760-8533 高松市寿町2-4-5	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-811-1805 FAX 087-811-1838
"	菅 信晴	一般社団法人日本建設業連合会 四国支部・運営委員 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 (株)奥村組 四国支店 執行役員支店長 〒760-0020 高松市寿町2丁目3番11号	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-851-9008 FAX 087-821-1314
"	吉田 英信	一般社団法人日本建設業連合会 四国支部 副支部長 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 鹿島建設㈱ 四国支店 常務執行役員支店長 〒760-0050 高松市亀井町1-3	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-839-3100 FAX 087-862-0314
"	吉村 文次	一般社団法人高知県建設業協会 〒780-0870 高知市本町4-2-15	TEL 088-622-3113 FAX 088-652-7609
支部監事	内田 純二	西日本高速道路エン지니어リング 四国(株) 土木事業本部調査設計部 副主幹 〒760-0072 高松市花園町3-1-1	TEL 087-834-2413 FAX 087-834-1193
"	木下 尚樹	愛媛大学 大学院理工学研究科 講師 〒790-8577 松山市文京町3	TEL 089-927-9823 FAX 089-927-9823
幹事長	西川 徹	(株)第一コンサルタンツ 設計部統括部長 〒781-5105 高知市介良甲828-1	TEL 088-821-7770 FAX 088-821-7078
事務局長	中根 久幸	(株)地研 取締役事業部長 〒780-0974 高知市円行寺25番地	TEL 088-822-1535 FAX 088-820-7326
事務局員	中島 淳子	愛媛大学 防災情報研究センター 〒790-8577 松山市文京町3	TEL 090-6881-9036 FAX 089-927-9817

平成31年度 地盤工学会四国支部役員

: 新役員

役職	氏名	勤務先(役職)および住所	TEL・FAX
幹事	荒木裕行	香川大学 創造工学部創造工学科 講師 〒761-0396 高松市林町2217-20	TEL FAX
〃	安原英明	愛媛大学 大学院理工学研究科 教授 〒790-8577 松山市文京町3	TEL 089-927-9853 FAX 089-927-9853
〃	ネトラ P.バンダリ	愛媛大学 社会共創学部 准教授 〒790-8577 松山市文京町3	TEL 089-927-8566 FAX 089-927-8566
〃	荒巻憲隆	香川高等専門学校 建設環境工学科 准教授 〒761-8058 高松市勅使町355	TEL 087-869-3923 FAX 087-869-3929
〃	小泉勝彦	国土交通省 四国地方整備局 企画部技術企画官 〒760-8554 高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎	TEL 087-811-8308 FAX 087-811-8408
〃	宮崎貴司	国土交通省 四国地方整備局 港湾空港部 港湾事業企画課長 〒760-8554 高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎8F	TEL 087-811-8331 FAX 087-811-8431
〃	水口登志夫	徳島県 県土整備部 建設管理課 技術管理担当課長補佐 〒770-8570 徳島市万代町1-1	TEL 088-621-2620 FAX 088-621-2864
〃	合田敏信	香川県 土木部技術企画課課長補佐 〒760-8570 高松市番町4-1-10	TEL 087-832-3521 FAX 087-806-0220
〃	曾我部知正	愛媛県 土木部 土木管理局 土木管理課 技術企画室 主幹 〒790-8570 松山市一番町4-4-2	TEL 089-912-2647 FAX 089-912-2653
〃	森本剛正	高知県 土木部防災砂防課課長補佐 〒780-8570 高知市丸ノ内2-1-20	TEL 088-823-9845 FAX 088-823-9539
〃	石橋一恭	(独) 水資源機構吉野川本部 施設管理課長 〒760-0018 高松市天神町10-1	TEL 087-835-6600 FAX 087-835-6605
〃	宇高幸生	四国電力(株) 土木建築部 土木技術グループ 副リーダー 〒760-8573 高松市丸の内2-5	TEL 087-821-5061 FAX 087-825-3177
〃	福原力	西日本高速道路(株)四国支社 建設事業部 技術計画課長 〒760-0065 高松市朝日町4-1-3	TEL 087-825-1896 FAX 087-826-3057
〃	能野一美	(株)四電技術コンサルタント 土木事業部・地質技術グループ課長 〒761-0121 高松市牟礼町牟礼1007-3	TEL 087-887-2290 FAX 087-887-2205
〃	香川年市	資薬工業(株) 取締役 調査部長 〒761-301 高松市林町475-1	TEL 087-802-9501 FAX 087-802-9520
〃	山本貴弘	一般社団法人日本建設業連合会 四国支部 公共工事委員会委員長 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 (株)大林組 四国支店 副支店長 〒760-0007 高松市中央町11-11	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-831-7121 FAX 087-837-3650
〃	神田幸正	株式会社ビュー設計 技術部次長 〒771-0136 徳島市川内町平石古田261番地	TEL 088-665-7360 FAX 088-665-7361
〃	中島昇	(株)地研 係長 〒780-0974 高知市円行寺25番地	TEL 088-822-1535 FAX 088-820-7326
〃	植田昌宏	(株)チェリーコンサルタント 技術監 〒760-0073 高松市栗林町3-7-23	TEL 087-834-5111 FAX 087-831-3962

平成31年度 地盤工学会四国支部 地域幹事

: 新地域幹事

役職	氏名	勤務先(役職)および住所	TEL・FAX
(徳島県) 地域幹事	梶取真一	国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所 河川調査課長 〒770-0803 徳島市上吉野町3-35	TEL 088-654-9611 FAX 088-654-9643
	田村晃一	国土交通省 四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所企画調整課長 〒773-0001 小松島市小松島町字新港9-14	TEL 0885-32-3357 FAX 0885-35-0010
	井戸城治	西日本高速道路(株) 四国支社徳島工事事務所工務課長 〒770-0861 徳島市住吉5-1-30	TEL 088-626-5285 FAX 088-626-5691
	小林昌弘	(株)基礎建設コンサルタント 技術部技術課長 〒779-3120 徳島市国府町南岩延883-92-5330	TEL 088-642-5330 FAX 088-642-4216
	宮川鉄平	応用地質(株) 四国支社徳島支店 主担 〒770-0021 徳島市佐古一番町10番2号G2ビル3階	TEL 088-653-0125 FAX 088-653-0124
	藤川健太	四国建設コンサルタント(株) 道路・計画部設計3課係長 〒771-1156 徳島市応神町応神産業団地3番地1	TEL 088-683-3392 FAX 088-683-3562
	大和直也	ニタコンサルタント(株) 香浜部 課長 〒771-0122 徳島市川内町鈴江西38-2	TEL 088-665-5550 FAX 088-665-0015
(高知県) 地域幹事	山地秀幸	国土交通省 四国地方整備局 高知河川国道事務所調査課長 〒780-8023 高知市六泉寺町96-7	TEL 088-832-0779 FAX 088-833-5357
	山崎清志	国土交通省 四国地方整備局 高知港湾・空港整備事務所企画調整課長 〒781-0113 高知市種崎874	TEL 088-847-3512 FAX 088-837-3001
	門吉直人	高知市 都市建設部 部長 〒780-8571 高知市本町5-6-13	TEL 088-823-9216 FAX 088-823-9038
	古宮一典	応用地質(株) 高知支店 支店長 〒780-0901 高知市上町2-5-1 (白井エステートビル3F)	TEL 088-855-3050 FAX 088-875-5066
	北村暢章	(株)第一コンサルタント 設計部地盤防災課 〒781-5105 高知市介良甲828-1	TEL 088-821-7770 FAX 088-821-7078
	松尾俊明	(株)四国トライ 代表取締役社長 〒780-0082 高知市南川添17-21	TEL 088-883-5908 FAX 088-883-5909
	山崎尚明	(株)相愛 取締役営業部長 〒780-0002 高知市重倉266-2	TEL 088-846-6700 FAX 088-846-6711
(愛媛県) 地域幹事	岡崎健一郎	(株)轟組 防災担当部長 〒780-8006 高知市萩町1丁目5番13号	TEL 088-834-1016 FAX 088-834-1028
	西山文彦	国土交通省 四国地方整備局 松山港湾・空港整備事務所企画調整課長 〒791-8058 松山市海岸通2426-1	TEL 089-951-0162 FAX 089-946-8010
	篠原潤	(株)カナン・ジオリサーチ 代表取締役 〒791-1106 松山市今在家2-1-4	TEL 089-993-6711 FAX 089-993-6733
(香川県) 地域幹事	松田久和	(株)シアテック 新居浜事業所(菊本) 〒792-0003 新居浜市菊本町1丁目10番1号	TEL 0897-37-2797 FAX -
	山本貴弘	一般社団法人日本建設業連合会 四国支部 公共工事委員会委員長 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 (株)大林組 四国支店 副支店長 〒760-0007 高松市中央町11-11	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-831-7121 FAX 087-837-3650
	田村彰三	田村ポーリング(株) 専務取締役 〒760-0007 高松市中央町6-19-21	TEL 087-833-7878 FAX 087-834-4795
	木下博久	復建調査設計(株) 四国支社 地盤技術課長 〒760-0020 高松市錦町1-4-40	TEL 087-826-1913 FAX 087-826-2026
	増田剛人	㈱増田地質工業 会社役員 〒760-0005 高松市宮脇町1丁目18番23号	TEL 087-862-5255 FAX 087-862-5201
	能野一美	(株)四電技術コンサルタント 土木事業部・地質技術グループ課長 〒761-0121 高松市牟礼町牟礼1007-3	TEL 087-887-2290 FAX 087-887-2205
	安藤秀一	(株)ウエスコ 四国支社 地盤調査事業部 四国地盤調査課長 〒761-8055 高松市紙町494	TEL 087-864-9248 FAX 087-868-3037
右近雄大	大日本コンサルタント(株) 四国支店 係長 〒760-0026 高松市磨屋町3-1	TEL 087-811-0899 FAX 087-851-9311	

第5号議案 平成31年度 支部事業計画(報告)

平成 31 年度支部事業計画（報告）

1. 総会、役員会等

(1) 支部総会

第 1 回 2019 年 4 月 22 日（月）16:00～17:00 レクザムホール（香川県県民ホール）
（高松市）

- ・平成 30 年度 特別会員表彰他
- ・平成 30 年度 支部事業報告（案）
- ・平成 30 年度 支部収支決算報告（案）、監査報告
- ・支部規程・支部会計規程の改定（案）
- ・平成 31 年度 支部役員（案）
- ・平成 31 年度 支部事業計画
- ・平成 31 年度 支部収支予算
- ・支部創立 60 周年記念事業計画

(2) 評議員会（第 2 回以降は商議員会）

第 1 回 2019 年 4 月 22 日（月）14:30～15:30 レクザムホール（香川県県民ホール）
（高松市）

- ・平成 31 年度 支部役員（案）
- ・平成 30 年度 支部事業報告（案）
- ・平成 30 年度 支部収支決算報告（案）、監査報告
- ・支部規程類改正（案）
- ・平成 30 年度 特別会員表彰他
- ・平成 31 年度 支部事業計画
- ・平成 31 年度 支部収支予算
- ・その他

第 2 回 2020 年 2 月（予定）

- ・平成 31 年度 支部事業報告
- ・平成 31 年度 支部決算見込み報告
- ・2020 年度 支部役員案
- ・2020 年度 支部事業計画案
- ・2020 年度 支部予算案
- ・その他

(3) 幹事会

3回程度開催（第1回 2019年6月予定）

(4) 地盤工学会四国支部創立60周年記念事業 実行委員会

2回程度開催

2. 支部主催行事

(1) 支部創立60周年記念事業 担当：実行委員会

○日時：2019年10月2日

○場所：高松市

(2) 2019年度講習会 担当：NEXCO

○日時：2019年9月頃

○場所：高松市

(3) 2019年技術研究発表会 担当：香川大学

○日時：2019年11月15～16日

○場所：高松市

(4) 2019年見学会 担当：香川大学

○日時：2019年11月16日

○場所：丸亀城

(5) 学術講演会 担当：地盤工学会四国支部

○日時：未定

○場所：未定

(6) 地盤工学会四国支部 地盤地震防災研究委員会

○研究委員会 3回程度（会場未定）

3. 各県地盤工学会事業

(1) 徳島県地盤工学会

1) 2019年度 地盤と防災・環境に関するシンポジウム

- ・日時：8月
- ・場所：調整中

2) 第1回 現場見学会

- ・日時：10月
- ・場所：調整中

3) 第1回 特別講演会

- ・日時：3月
- ・場所：調整中

4) サマースクール（意見交換会など）

- ・日時：調整中
- ・場所：調整中

(2) 香川県地盤工学会

1) 第1回役員会

日時：2019年6月初旬

議事：

- ・平成30年度事業報告
- ・2019年度役員について
- ・2019年度事業計画
- ・その他

2) 学術講演会

日程：2019年9～10月予定

3) 見学会

日程：2019年12月予定

(3) 愛媛県地盤工学会

1) 共催行事

未定

2) 主催行事

○2019年度愛媛県地盤工学会第一回学術講演会

- ・主催：(公社)地盤工学会四国支部愛媛県地盤工学会
- ・日時：2019年7月頃
- ・場所：未定
- ・内容：未定

○2019年度愛媛県地盤工学会第二回学術講演会

- ・主催：(公社)地盤工学会四国支部愛媛県地盤工学会
- ・日時：2019年11月頃
- ・場所：未定
- ・内容：未定

○2019年度愛媛県地盤工学会第三回学術講演会

- ・主催：(公社)地盤工学会四国支部愛媛県地盤工学会
- ・日時：2020年2月頃
- ・場所：未定
- ・内容：未定

(4) 高知県地盤工学会

1) 第46回(2019年度) 高知県地盤工学会 講演会

日時：2019年8月(予定)

会場：未定

内容：未定

2) 第47回(2019年度) 高知県地盤工学会 現地見学会

日時：2019年12月(予定)

会場：未定

内容：未定

第6号議案 平成31年度 支部収支予算(報告)

平成31年4月1日から令和2年（2020年）3月31日まで
四国支部（平成31年度）

(円)

科 目	公益目的事業会計						法人会計	合計
	公 1	公 2	公 3	公 4	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
① 事業収益	0	870,000	200,000	0	0	1,070,000	0	1,070,000
調査研究・基幹事業収益（公2）	0	870,000	0	0	0	870,000	0	870,000
学術講演会収益	0	50,000	0	0	0	50,000	0	50,000
見学会収益	0	20,000	0	0	0	20,000	0	20,000
技術研究発表会収益	0	240,000	0	0	0	240,000	0	240,000
60周年記念収益	0	560,000	0	0	0	560,000	0	560,000
技術推進事業収益（公3）	0	0	200,000	0	0	200,000	0	200,000
講習会収益	0	0	200,000	0	0	200,000	0	200,000
② 雑収益	0	0	0	0	160,005	160,005	0	160,005
受取利息	0	0	0	0	5	5	0	5
雑収益	0	0	0	0	160,000	160,000	0	160,000
③ 他会計からの繰入額	0	0	0	0	1,710,000	1,710,000	0	1,710,000
本部交付金	0	0	0	0	1,710,000	1,710,000	0	1,710,000
経常収益計	0	870,000	200,000	0	1,870,005	2,940,005	0	2,940,005
(2) 経常費用								
① 事業費	0	3,560,000	250,000	15,000	0	3,825,000	0	3,825,000
調査研究・基幹事業費（公2）	0	3,560,000	0	0	0	3,560,000	0	3,560,000
学術講演会費	0	30,000	0	0	0	30,000	0	30,000
見学会費	0	80,000	0	0	0	80,000	0	80,000
技術研究発表会費	0	270,000	0	0	0	270,000	0	270,000
研究会助成金支出	0	600,000	0	0	0	600,000	0	600,000
研究事業支出	0	100,000	0	0	0	100,000	0	100,000
60周年記念事業支出	0	2,480,000	0	0	0	2,480,000	0	2,480,000
技術推進事業費（公3）	0	0	250,000	0	0	250,000	0	250,000
講習会費	0	0	250,000	0	0	250,000	0	250,000
表彰関連事業費（公4）	0	0	0	15,000	0	15,000	0	15,000
表彰事業	0	0	0	15,000	0	15,000	0	15,000
② 管理費	0	859,536	95,504	0	0	955,040	0	955,040
備人費	0	450,000	50,000	0	0	500,000	0	500,000
会費	0	36,000	4,000	0	0	40,000	0	40,000
旅費・交通費	0	135,000	15,000	0	0	150,000	0	150,000
通信費	0	54,000	6,000	0	0	60,000	0	60,000
印刷費製本費	0	45,000	5,000	0	0	50,000	0	50,000
HP管理費	0	58,500	6,500	0	0	65,000	0	65,000
雑費	0	81,036	9,004	0	0	90,040	0	90,040
経常費用計	0	4,419,536	345,504	15,000	0	4,780,040	0	4,780,040
当期経常増減額	0	△ 3,549,536	△ 145,504	△ 15,000	1,870,005	△ 1,840,035	0	△ 1,840,035
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	△ 3,549,536	△ 145,504	△ 15,000	1,870,005	△ 1,840,035	0	△ 1,840,035
一般正味財産期首残高								12,025,849
一般正味財産期末残高								10,185,814
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額								0
指定正味財産期首残高								0
指定正味財産期末残高								0
III 正味財産期末残高								10,185,814

第 7 号議案 支部創立 60 周年記念事業計画(報告)

支部創立 60 周年記念事業計画（報告）

1. 概 要

四国支部は、2019 年 9 月に創立 60 周年（S34.9.29 創立）を迎えることから、2019 年 10 月 2 日（水）に支部創立 60 周年記念事業を実施する計画（本部報告済み）としている。また、本記念事業の一部（予定：記念シンポジウム）は、地盤工学会 70 周年記念事業の行事の一部を兼ねるものとする。

なお、記念事業の実施にあたっては、平成 21 年 9 月に実施された支部創立 50 周年記念事業を参考としている。

2. 記念事業の概要

○60 周年記念事業

（特別講演会(2019.1.31 開催済)、記念シンポジウム、記念式典（表彰含む）、記念祝賀会）

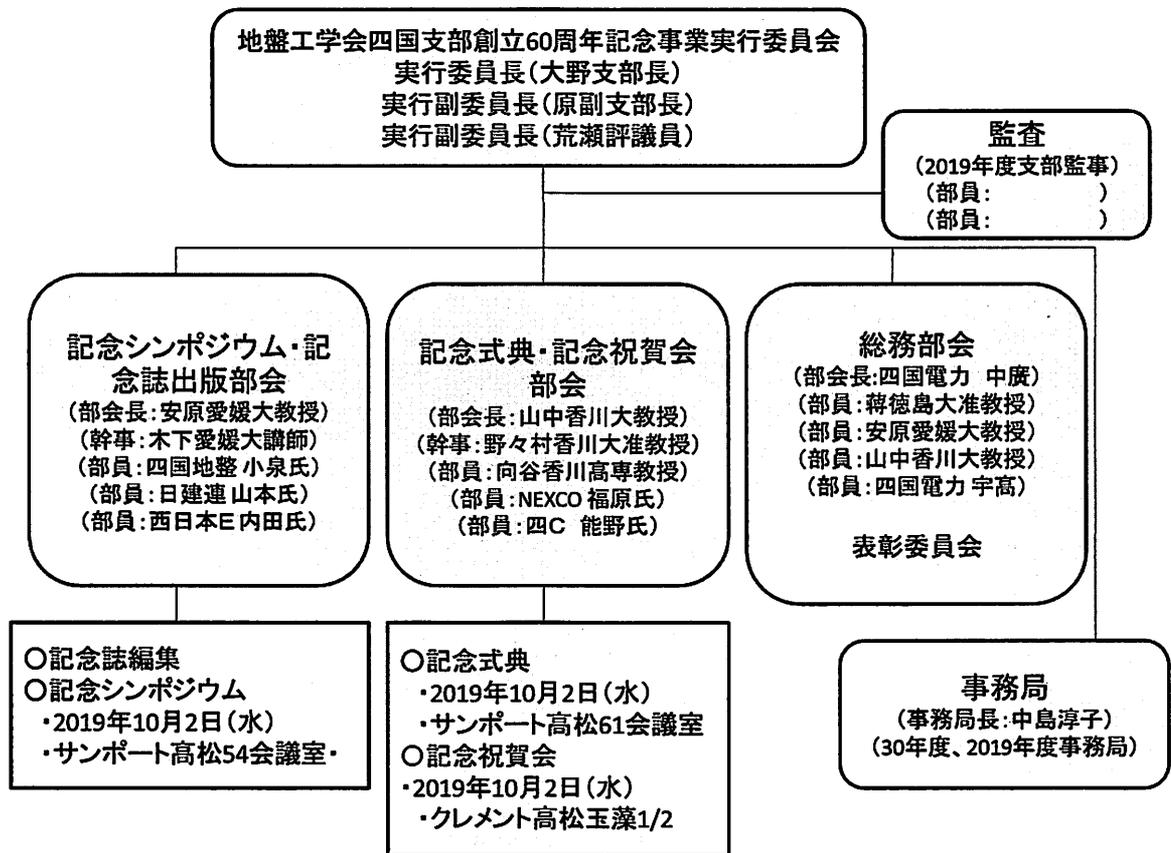
○記念誌出版

3. 実行委員会

60 周年記念事業の実施にあたっては、同事業の企画・実行・審議を行う組織として、「地盤工学会四国支部創立 60 周年記念事業実行委員会」を設立している。

(H30.9.21 評議員会承認)

- 実行委員長 : 大野支部長(H30 年度支部長)
- 実行副委員長 : 原副支部長(H30 年度副支部長)、荒瀬評議員(H30 評議員)
- 実行委員 : 支部役員(H30 年度、2019 年度) より選出
- 部 会 : 記念シンポジウム・記念誌出版部会(部会長:安原愛媛大教授)
記念式典・記念祝賀会部会(部会長:山中香川大教授)
総務部会(部会長:四国電力(株) 中廣)
事務局(事務局長:中島淳子)
監査(H31 年度支部監事)
- 備 考 : 実行委員会にて“実行委員会規約”を制定して委員会を運営



地盤工学会四国支部創立 60 周年記念事業実行委員会組織

4. 記念事業

(1) 60周年記念事業(案)

1) 特別講演会・・・開催済

「平成30年7月豪雨による四国地方の地盤災害に関する特別講演会」

- ・日時：2019年1月31日(木) 13:00～18:30
- ・会場：サンポートホール高松 61会議室
- ・参加者：100名
- ・参加費：無料
- ・講演内容：
 - ・愛媛県内の土砂災害の発生状況と特徴(愛媛大学 森 伸一郎)
 - ・国道56号における土砂災害状況と復旧について
(国土交通省 四国地方整備局 秋山 慎吾)
 - ・高知県内の土砂災害状況と発生機構について(㈱地研 中島 昇)
 - ・高知道立川トンネル坑口付近での大規模斜面崩壊と復旧計画について
(西日本高速道路㈱四国支社 久保井 泰博)
 - ・愛媛県内の河川堤防の被害状況と発生機構について
(愛媛大学 岡村 未対)
 - ・愛媛県内のため池の被害状況と発生機構について(愛媛大学 小林 範之)
 - ・土砂災害に対する防災・減災上の課題と対策について
(香川大学 長谷川 修一)

2) 記念シンポジウム

「四国における豪雨・地震災害に関する研究と対策」(仮題)

- ・日時：2019年10月2日(水) 13時30分～16時00分
- ・会場：サンポートホール高松 54会議室(定員：120名)
- ・参加者：100名予定(50周年時：181名)
- ・参加費：無料(ただし、「60年の歩み」の希望者には4,000円にて販売)
- ・内容：第1部：四国における豪雨・地震災害に関する研究と対策
(1発表20分程度：3発表程度)
第2部：四国発！地盤工学上の革新的技術開発
(1発表30分：3発表程度)

3) 記念式典

- ・日 時 : 2019年10月2日(水) 16時20分～17時30分
- ・会 場 : サンポートホール高松 61会議室(定員:144名)
- ・参加者 : 80名予定(50周年時:90名)
- ・参加費 : 無料(ただし、「60年の歩み」の希望者には4,000円にて販売)
- ・記念式典式次第
 - 開会の辞
 - 支部長挨拶
 - 来賓祝辞
 - 地盤工学会長
 - 国土交通省四国地方整備局長
 - 60周年経緯報告
 - 表彰(功労賞、技術開発賞、技術功労賞)
 - 閉会の辞

4) 記念祝賀会

- ・日 時 : 2019年10月2日(水) 18時00分～20時00分
- ・会 場 : ホテルクレメント高松 玉藻1/2
- ・参加者 : 60名予定(50周年時:78名)
- ・会 費 : 6,000円

・祝賀会次第

- 開会の辞
- 支部長挨拶
- 祝辞
 - 土木学会四国支部長
 - 地盤工学会●●支部長
- 乾杯
 - 四国支部副支部長
- 交流会
- 万歳三唱
 - 四国支部顧問

(2) 記念誌出版

・タイトル(体裁)「60年の歩み」(仮題) A4版 200頁×150冊

・内 容(案)

○巻頭言

○支部長挨拶

○祝 辞

○第I編

・第1章 平成21年～平成30年歴代支部長挨拶

・第2章 50～60周年の経緯

○第II編

・第3章 豪雨・地震による地盤災害の研究と対応

・第4章 四国発、地盤工学上の革新的技術開発

・第5章 平成21年～平成30年の委員会報告、調査団報告

○編集後記

5. 実施予算(案)

(単位:千円)

項 目	収 入	支 出	備 考
実行委員会	—	200	旅費、会場費
記念ソボ・記念式典・祝賀会	360	1,480	会場費、看板等設置費、原稿料、印刷製本費、記念品費、懇親会費等
記念誌	200	600	編集料、旅費、印刷製本費等
事務局経費	—	200	事務費、雑費
支部還付金	1,860	—	第53回地盤工学研究発表会支部還付金(約510万円)より充当
合 計	2,480	2,480	

以 上

【参考資料】

○平成 31 年度以降の事業予定

○四国支部規程・内規

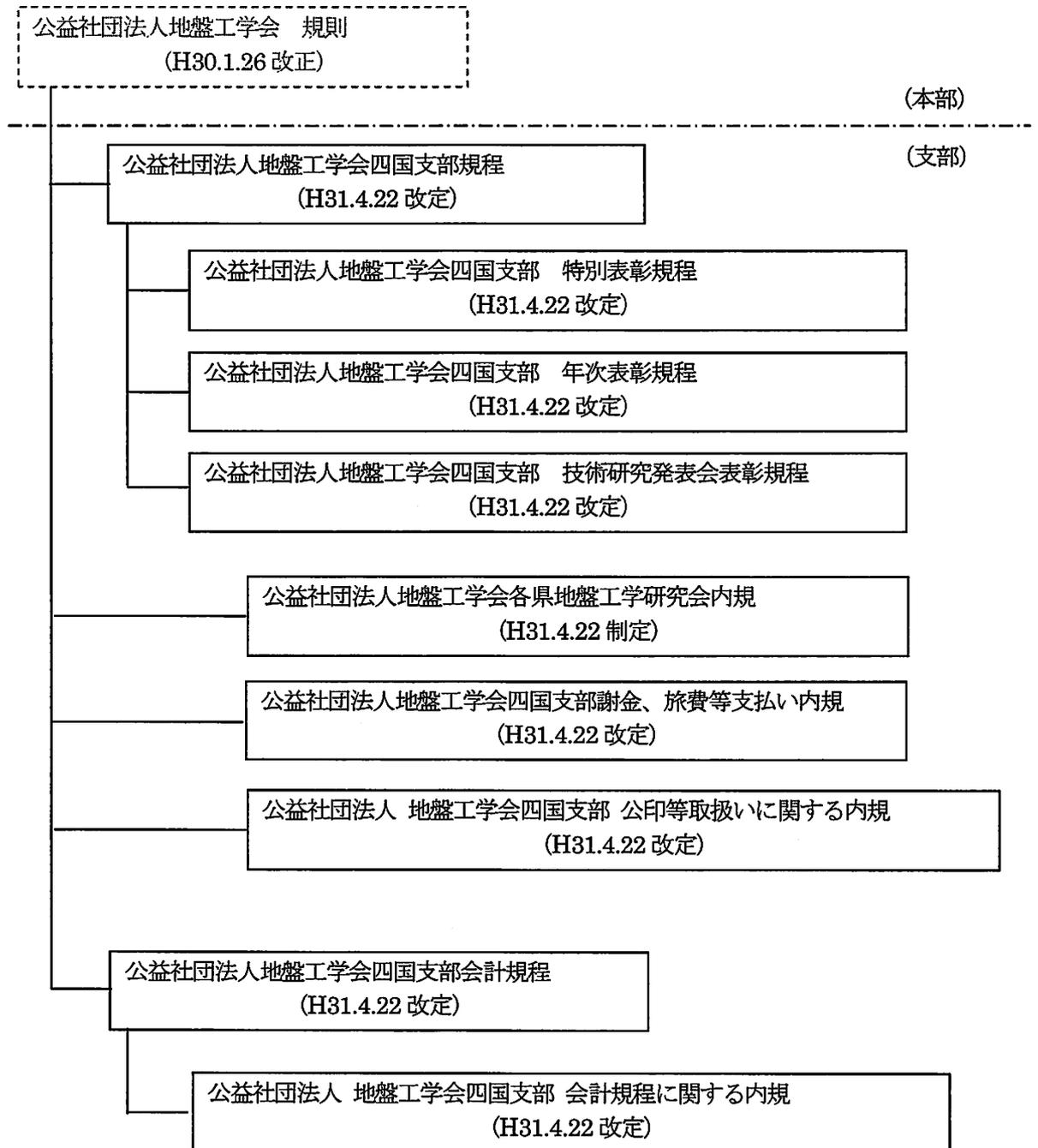
- ・地盤工学会四国支部規程 (平成 31 年 4 月 22 日改定)
- ・地盤工学会四国支部特別表彰規程 (平成 31 年 4 月 22 日改定)
- ・地盤工学会四国支部年次表彰規程 (平成 31 年 4 月 22 日改定)
- ・地盤工学会四国支部技術研究発表会表彰規程
(平成 31 年 4 月 22 日改定)
- ・地盤工学会四国支部各県地盤工学研究会内規
(平成 31 年 4 月 22 日制定)
- ・地盤工学会四国支部謝金、旅費等支払い内規
(平成 31 年 4 月 22 日改定)
- ・地盤工学会四国支部公印等取扱いに関する内規
(平成 31 年 4 月 22 日改定)
- ・地盤工学会四国支部会計規程 (平成 31 年 4 月 22 日改定)
- ・地盤工学会四国支部会計規程に関する内規
(平成 31 年 4 月 22 日改定)

平成31年度以降の事業予定

・事務局等の分担履歴、計画

年度	事務局	技術研究 発表会	講習会	見学会	学術講演会	四国建設広報 協議会	主要事業
H 2	愛媛大学			高知大学	土木学会		H. 1・・・30周年(四国地建)
H 3	四国電力	愛媛大学					
H 4	高知大学	徳島大学	四国電力		土木学会		全国大会(高知大学)
H 5	香川大学	高知大学					
H 6	徳島大学				土木学会		
H 7	香川大学	愛媛大学					
H 8	JH四国	徳島大学			土木学会		
H 9	愛媛大学						
H10	四国地建	高知大学			土木学会		IS-Shikoku(愛媛大学)
H11	四国電力	四国電力	四国電力		四国電力	愛媛大学	40周年(四国地建)
H12	高知大学	愛媛大学	JH四国	愛媛大学	土木学会	高知大学	
H13	香川大学	高知大学	四電、香川大	高知大学	愛媛大学	徳島大学	全国大会(徳島大学)
H14	徳島大学	徳島大学	四国地整	徳島大学	土木学会	香川大学	
H15	JH四国	香川大学	JH四国	香川大学	高知高専	愛媛大学	土木学会全国大会(徳島大学)
H16	愛媛大学	愛媛大学	香川大、四電	愛媛大学	土木学会	高知大学	
H17	四国地整	高知大学	四国地整	高知大学	愛媛大学	愛媛大学	
H18	四国電力	徳島大学	四国電力	徳島大学	土木学会	四国電力	
H19	香川大学	香川大学	NEXCO	香川大学	高知大学	香川大学	
H20	徳島大学	愛媛大学	香川大学	愛媛大学	土木学会	徳島大学	
H21	NEXCO	高知大学	四国地整	高知大学	愛媛大学	NEXCO	50周年記念事業
H22	愛媛大学	徳島大学	四国電力	徳島大学	土木学会	愛媛大学	全国大会(愛媛大学)
H23	四国電力	香川大学	NEXCO	香川大学	高知高専	四国電力	土木学会全国大会(愛媛大学)
H24	四国地整	愛媛大学	香川大学	愛媛大学	土木学会	四国地整	
H25	香川大学	高知大学	四国地整	高知大学	愛媛大学	香川大学	
H26	徳島大学	徳島大学	四国電力	徳島大学	土木学会	徳島大学	
H27	NEXCO	香川大学	NEXCO	香川大学	高知大学	NEXCO	
H28	愛媛大学	愛媛大学	香川大学	愛媛大学	土木学会	愛媛大学	
H29	四国地整	高知大学	四国地整	高知大学	徳島大学	四国地整	
H30	四国電力	徳島大学	四国電力	徳島大学	土木学会	四国電力	全国大会(香川大学)
H31	高知大学	香川大学	NEXCO	香川大学	高知高専	高知大学	60周年記念事業
2020	香川大学	愛媛大学	香川大学	愛媛大学	土木学会	香川大学	
2021	徳島大学	高知大学	四国地整	高知大学	愛媛大学	徳島大学	
2022	NEXCO	徳島大学	四国電力	徳島大学	土木学会	NEXCO	
2023	愛媛大学	香川大学	NEXCO	香川大学	高知大学	愛媛大学	
2024	四国地整	愛媛大学	香川大学	愛媛大学	土木学会	四国地整	
2025	四国電力	高知大学	四国地整	高知大学	徳島大学	四国電力	

公益社団法人 地盤工学会四国支部 規程類体系図



公益社団法人 地盤工学会四国支部規程

(平成 22 年 4 月 21 日制定)

(平成 31 年 4 月 22 日改定)

第 1 章 総 則

(支部の名称及び所在地)

第 1 条 公益社団法人地盤工学会（以下「学会」という。）定款第 3 条に基づき四国地区に支部を設け、公益社団法人地盤工学会四国支部（以下「支部」という。）といい、事務局を四国地区に置く。

(支部規程の制定)

第 2 条 支部の運営に関しては、学会規則（以下「規則」という。）第 52 条の規定により、学会定款（以下「定款」という。）及び規則に定めるもののほか、この規程に定めるところによる。

(支部区域)

第 3 条 支部は、規則第 44 条に示す四国地区（徳島県、香川県、愛媛県、高知県）在住の会員をもって組織する。

(地域会等)

第 4 条 支部は、支部発展のため各県に地盤工学研究会を設置する。

(事業)

第 5 条 支部は、規則第 46 条に定める範囲において、定款第 5 条に定める事業のうち、支部に関する事業を行う。

第 2 章 支部役員

(支部役員)

第 6 条 支部に、次の支部役員を置く。

支 部 長	1 名
副 支 部 長	3 名
商 議 員	30 名以内
支 部 監 事	2 名
幹 事 長	1 名
幹 事	20 名以内

2 支部に顧問を置くことができる。

(支部役員を選任)

第 7 条 支部役員は、商議員会が支部内の正会員のうちから推薦し、支部総会の決議によって選任する。そのうち、支部長については、正会員から選任しなければならないが、その余の者は特段の事情があれば正会員以外から選任することができる。

2 支部役員が任期中に欠けたときは、次期定例支部総会までの残任期間中に限り、欠員としてその後任者を商議員会において選任することができる。

3 顧問は、支部長が任免する。

(支部役員の任期)

第 8 条 支部役員の任期は 1 年とし、支部役員は再任を妨げない。

- 2 前項の任期1年とは、定例支部総会から翌年の定例支部総会終結時までとする。
- 3 支部役員は、その任期満了後も後任者が就任するまでは、その職務を行う。
- 4 顧問の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。
- 5 欠員として選任された支部役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(支部役員等の職務)

- 第9条 支部長は、支部を代表し、その会務を総理する。
- 2 副支部長は、支部長を補佐し、支部長が事故ある時には、その職務を代行する。
 - 3 商議員は、支部に関する重要事項を審議する。
 - 4 支部監事は、支部の会計及び支部役員の業務執行状況等を監査する。
 - 5 幹事は、支部に関する事務を処理し、幹事長はこれを総括する。
 - 6 顧問は、支部役員の諮問に応ずる。

(支部役員解任)

第10条 支部役員は、支部総会の決議によって解任することができる。

(支部役員報酬)

第11条 支部役員は、無報酬とする。

第3章 支部代議員

(支部代議員候補者の選考)

- 第12条 支部は、定款第7条及び代議員選挙規則により、支部代議員候補者の選考を行う。
- 2 支部代議員候補者は、商議員会にて選考する。

第4章 会議

(会議)

第13条 支部の会議は、支部総会、商議員会、幹事会及び支部委員会とする。

(支部総会)

- 第14条 支部総会は、規則第47条の規定により、支部に所属する会員をもって構成する。
- 2 支部長は、毎事業年度終了後1ヶ月以内に定例支部総会を招集する。また、必要に応じて臨時支部総会を招集する。
 - 3 支部総会の議長は、支部長がこれに当たる。
 - 4 支部総会は、次の事項について決議する。ただし、支部総会の議事は、予め商議員会の承認を必要とする。
 - (1) 支部役員の選任または解任
 - (2) 事業報告及び決算報告の承認
 - (3) 支部規程その他の規程の変更
 - (4) その他、商議員会で認めた事項
 - 5 支部総会は、支部に所属するすべての会員の委任状を含む20分の1以上の出席をもって成立する。
 - 6 委任状は、当該議事につき、書面もしくは電磁的記録をもって、支部総会における他の構成員に委任をし、または予め示された議案の賛否についての意思表示をすることができる。この場合はその者は出席者とみなす。
 - 7 支部総会の議事は、出席者の過半数をもって決定し、可否同数のときは議長の決定による。ただし、支部規程の変更に関しては、出席者の3分の2以上の同意を必要とする。

(商議員会)

第 15 条 商議員会は、商議員をはじめとする支部役員をもって構成し、議長は支部長がこれに当たる。

- 2 商議員会のうち、1回は毎事業年度開始1ヶ月前までに支部長が招集する。ただし、支部長が必要と認めた場合には、招集しなければならない。
- 3 商議員会は、次の事項を審議する。
 - (1) 事業報告及び決算
 - (2) 事業計画及び予算
 - (3) 規程等の制定及び変更
 - (4) 第7条に基づく支部役員の推薦または選出
 - (5) その他、会務運営上の事項
- 4 商議員会は、商議員の委任状を含む過半数の出席をもって成立する。
- 5 委任状は、当該議事につき、書面もしくは電磁的記録をもって、商議員会における他の構成員に委任をし、または予め示された議案の賛否についての意思表示をすることができる。この場合はその者は出席者とみなす。
- 6 商議員会の議事は、出席者の過半数をもって決定し、可否同数のときは議長の決定による。ただし、支部規程の変更に関しては出席者の3分の2以上の同意を必要とする。

(幹事会)

第 16 条 幹事会は、幹事長及び幹事をもって構成し、議長は幹事長がこれに当たる。

- 2 幹事会は、年3回程度開催し、幹事長が招集する。
- 3 幹事会は、商議員会に付議する事業計画、その他会務運営等に関する事項を策定する。

(支部委員会)

第 17 条 支部長は、調査・研究のために必要があるときは、支部委員会を設置することができる。

第5章 会 計

(支部の事業年度)

第 18 条 定款第43条に基づき、支部の事業年度は、毎年4月1日より始まり翌年3月31日に終る。

(支部の経費)

第 19 条 規則第51条に基づき、支部の経費は、交付金、寄付金及びその他の収入をもってあてる。

(支部の事業計画及び収支予算)

第 20 条 支部の事業計画及び収支予算は、毎事業年度開始1ヶ月前までに商議員会が議決し、支部長は直ちに会長に届出て、理事会の承認を得なければならない。

- 2 支部長は、理事会が承認した事業計画及び収支予算を定例支部総会に報告しなければならない。

(支部の事業報告及び収支決算)

第 21 条 支部の事業報告及び収支決算は、毎事業年度終了後、支部監事の監査を受けた上で、商議員会の議決を経て定例支部総会の承認を受けなければならない。

- 2 支部長は、毎事業年度終了後1ヶ月以内に事業報告及び収支決算報告を会長に届出て、理事会の決議を経て総会の承認を得なければならない。

第6章 支部表彰

第22条 支部及び地盤工学の発展に関して、顕著な貢献をしたと認められる者に対して、支部は別途定める規程に基づき表彰することができる。

第7章 支部規程の改廃

第23条 この規程を改廃しようとするときは、商議員会の議決を経て、支部総会の承認を得なければならない。

2 支部長は、この規程の変更を行う場合、予め理事会の承認を得なければならない。

付 則

この規程は、平成31年4月22日から施行する。

公益社団法人 地盤工学会四国支部特別表彰規程

平成11年4月21日制定

平成20年1月8日改定

平成23年4月26日改定

平成31年4月22日改定

(目的)

第1条 この規程は、公益社団法人地盤工学会四国支部（以下「支部」という）規程第22条に基づき、支部及び地盤工学の発展に関して、顕著な貢献をしたと認められる者を表彰するために定めたものである。

(対象)

第2条 表彰は、表彰授与当該年度を除く過去10会計年度における以下に掲げる功績を対象とする。但し、同一の事項について、本部表彰の履歴のある者は対象外とする。

(功労賞)

第3条 功労賞は、支部の発展及び支部並びに本部の主催する重要な行事の実施にあたり、顕著な貢献をしたと認められる者に授与するものとする。

(技術開発賞)

第4条 技術開発賞は、地盤工学における新技術の開発及びその実用化等で顕著な貢献をし、地盤工学の発展を通じて社会に貢献したと認められる者に授与するものとする。

(技術功労賞)

第5条 技術功労賞は、長年にわたり人目に付きにくい業務に従事し、地道な実務の積み重ねを通じて地盤工学の進歩発展に功労があった者に授与するものとする。

(賞の授与年度)

第6条 賞は、10年に一度、支部発足10年毎の節目の年度に授与するものとする。

(選考委員会及び賞の決定方法)

第7条 賞選考委員会(以下「委員会」という)において賞を選考する。

第8条 委員会は、支部の10周年毎の記念事業実行委員会委員(以下「実行委員会」という)で構成される。

2. 委員会の長は、実行委員長が兼任する。

3. 実行委員会を設けない場合の委員会委員は、支部役員の中から5人以内で支部長が委員を選定し、委嘱する。

第9条 賞の受賞候補者は、支部役員が委員会に推薦理由を付して推薦し、委員会で決定するものとする。

(表彰の時期及び表彰方法)

第10条 表彰は、支部の10周年毎の記念行事(以下「記念行事」という)の席において賞状及び副賞を授与して行う。

2. 記念行事を行わない場合は、10周年毎の当該年度内において、支部長の指定する日に表彰式を行うものとする。

(改廃)

第11条 この規程は、商議員会の議決を経て改廃することができる。

(附則)

この規程は、平成31年4月22日より施行する。

公益社団法人 地盤工学会四国支部年次表彰規程

平成20年1月8日制定
平成23年4月26日改定
平成31年4月22日改定

(目的)

第1条 この規程は、公益社団法人地盤工学会四国支部(以下「支部」という)規程第22条に基づき、地盤工学の学術並びに技術の発展と学会支部活動の活性化に寄与した優れた業績を表彰するために定めたものである。

(表彰対象)

第2条 表彰は「地盤工学会四国支部賞(以下、四国支部賞という)」を授与して行う。四国支部賞は、原則として支部の会員による次のいずれかに該当する業績を対象として、個人(複数可)または団体に授与する。

(1) 技術賞

四国地域で実施され、支部における技術研究発表会等で発表された調査、設計及び施工等の個別技術に係る業績

(2) 技術開発賞

活用性、汎用性に優れた技術の開発及び実用化等

(3) 研究・論文賞

支部および各県の地盤工学研究会で発表された創造性、特殊性が活かされた学術的に優れた研究論文及び研究報告等

(4) 功績賞

- ① 支部の活動に永年従事し、学会の進歩、発展、運営に顕著な貢献をしたと認められる業績等
- ② 支部関係技術者の育成及び技術力向上に顕著な貢献をしたと認められる業績等
- ③ 支部の広報ならびに社会的地位向上に貢献をしたと認められる業績等

第3条 四国支部賞は第2条の各項目の名称を「四国支部賞(賞名)」と称する。各部門について該当者のいない場合には授与を見送る。

第4条 受賞者は原則として支部に所属する会員または特別会員とする。

(表彰委員会)

第5条 四国支部賞を選考する表彰委員会(以下「委員会」という)を設置する。

第6条 委員会は委員長、幹事1名、委員4名とする。

第7条 委員長は支部長とする。

第8条 幹事、委員は委員長が選任する。

(応募)

第9条 四国支部賞の応募は別途定める「応募推薦要領」による。

(審査及び決定)

第10条 応募業績の審査及び受賞業績の決定は委員会で行う。

(表彰)

第11条 総会において支部長が賞状を授与する。

(改廃)

第12条 この規程は、商議員会の議決を経て改廃することができる。

(附則)

第12条 この規程は、平成31年4月22日より施行する。

公益社団法人 地盤工学会四国支部技術研究発表会表彰規程

平成 11 年 4 月 21 日制定
平成 20 年 1 月 8 日改定
平成 23 年 4 月 26 日改定
平成 25 年 11 月 23 日改定
平成31年4月22日改定

(目的)

第 1 条 この規程は、地盤工学に係る技術の発展及び技術者の意識向上を図ることを目的として、公益社団法人地盤工学会四国支部規程第 22 条に基づき、支部主催の技術研究発表会における優秀論文の口頭発表者を優秀発表賞（以下「賞」という）として表彰するために定めたものである。

(受賞対象者)

第 2 条 受賞対象者は以下のとおりとする。

- (1)地盤工学会の個人会員であること。
- (2)大学および高等専門学校等の教員でないこと。
- (3)過去 5 年以内に受賞していないこと。
- (4)当該年度の 4 月 1 日時点で 40 歳未満であること。
- (5)発表者数の概ね 10%程度の人数を表彰する。

(審査方法)

第 3 条 賞を選考するために、論文審査委員会（以下「委員会」という）を設置する。

2. 委員会は、委員長および委員 4 名の計 5 名で構成する。委員長は幹事長とし、委員は幹事長が選任する。採点委員は、委員会が選任する。
3. 口頭発表は 3 名以上の採点委員で採点を行う。
4. 採点項目は、(1) 発表内容、(2) 発表技術、(3)発表時間、(4)質疑応答の 4 項目とする。
5. 採点委員は、採点結果を委員会に提出する。委員会は、提出された採点結果を基に受賞者を選出する。
6. 委員長は、支部幹事会に受賞者を報告する。

(表彰方法)

第 4 条 表彰は、支部長が行う。

2. 表彰を行うにあたっては、賞状を授与することができる。

(改 廃)

第 5 条 この規程は、商議員会の議決を経て改廃することができる。

(附則)

この規程は、平成 31 年 4 月 22 日より施行する。

平成31年4月22日制定

(目 的)

第1条 この内規は、公益社団法人地盤工学会四国支部（以下「支部」という）規程第4条における各県の地盤工学研究会（以下「各県研究会」という）の運営に係る事項を定める。

(運 営)

第2条 各県研究会の運営にあたっては、次の条件を満たすこと。

- (1) 各県研究会の責任者および会計責任者をおくこと。
- (2) 活動内容が広義の地盤工学に関わり、地域の地盤工学会員の技術力向上に寄与するものであること。

(助 成)

第3条 支部は、各県研究会の運営を行う費用の一部を助成金として負担する。負担額は各年度の事業計画に計上する。

2. 助成金は、各県研究会が地盤工学会員に対して事業を行うための費用に充当する。

(報告義務等)

第4条 各県研究会は、年度末に当該年度の事業および会計、翌年度の事業予定を支部に報告する。

2. 会費を徴収する講習会あるいは講演会等を開催した場合には、支部に事業および会計を報告する。

(改 廃)

第5条 この内規は、商議員会の議決を経て改廃することができる。

公益社団法人 地盤工学会四国支部謝金、旅費等支払い内規

平成 18 年 2 月 22 日制定

平成 31 年 4 月 22 日改定

(目 的)

第 1 条 この内規は、公益社団法人地盤工学会四国支部（以下、「支部」という）の活動に関する旅費、謝金の支給に係る事項を定める。

(謝 金)

第 2 条 謝金は、地盤工学会謝金支給規程（平成 25 年 1 月 25 日改正）に準じて、以下の通り支給する。

項 目	支給単位	支給額
講師料	講演時間60分まで10分ごとに	2,000 円
	講演時間60分を越え10分増すごとに	1,500 円
特別講師	講演時間60分まで	15,000 円
	講演時間60分を越え30分増すごとに	10,000 円
原稿料	依頼原稿（会誌1ページ相当）	2,500 円
	講習会テキスト（書き下ろし原稿用紙1枚）	920 円
アルバイト	1日あたり	7,000 円
	1時間あたり	900 円

(旅 費)

第 3 条 旅費は、地盤工学会旅費支給規程(H30.5.18改正)に準じて、以下の通り支給する。
なお、原則として要求がある場合に支給する。

① 交通費

- ・四国内（県都間等）の交通費は、高速バスの旅客運賃を支給する。
ただし、特別な事情で鉄道を利用した場合は、JRの旅客運賃を支給する。
- ・タクシー等自動車を利用した車賃は支給しない。
ただし、特別な事情でやむを得ず自動車を利用した場合の車賃は実費額とする。
- ・航空機利用の場合は、可能な限り早期割引制度を利用するなどした当該便の最安実費航空運賃を支給する。
- ・高速バス、JR以外の交通機関を利用する場合の運賃は、実費支給とする。
ただし、高速バス乗降場、空港から勤務個所、会場までの交通費は、一律1,000円（片道）とする。

② 日 当：な し

③ 宿泊費：9,000円（実費がこれ以上の場合は別途協議）

ただし、上記内容が所属機関の旅費規程等と相違があり、申し出があった場合は所属機関の規程から算出した金額を支給する。

(改 廃)

第 4 条 この内規は、商議員会の議決を経て改廃することができる。

公益社団法人 地盤工学会四国支部 公印等取扱いに関する内規

平成30年4月24日 制定

平成31年4月22日 改定

(目 的)

第1条 この内規は、公益社団法人地盤工学会四国支部（以下「支部」という）の発する文書、書類等への公印等の押印及び公印の管守について規定する。

(公印の種類)

第2条 公印には以下の印がある。印影は別紙のとおり。

1. 「支部長の印」 16mm丸印
2. 「支部長の印」 24mm平方角印
3. 「支部の印」 21mm平方角印
4. 「支部の金融機関印」 21mm平方角印

(公印の保管)

第3条 支部で使用する公印の保管責任者は、支部幹事長を原則とする。

2. 公印保管責任者は、その保管する印を改刻、または廃止するときは、支部長の承認を得て、会長に届出なければならない。

(公印押印書類)

第4条 次の各号に関わる文書には公印を押印するものとする。ただし、支部の内部の文書には、公印の押印を省略することができる。

1. 契約書及び覚書等の締結文書
2. 各種褒賞に関するもの
3. 見積、請求、納品等に関するもの
4. 各種委員会等の委員長、委員の委嘱に関するもの
5. その他支部長、支部幹事長及び各種委員会等の委員長が必要であると認めたもの
6. 職員の任免等人事に関するもの

(公印押印書類の保管、記録)

第5条 第2条の公印押印の文書は、保管しなければならない。

- 2 本状の公印押印を付して発行する公文書は、写しを保管するとともに台帳に記録しなければならない。
- 3 金融機関との日常的な取引に関するものは、写しの保管を省略することができる。

(公印の使用)

第6条 公印を必要とする者は、公印保管責任者に公印の使用を請求するものとする。

(公印等の押印)

第7条 第4条の第1号から第6号の書類には、必要に応じて第2条の印を押印する。

- 2 見積・請求・納品の書類には、原則として第2条の第1号の丸印と第3号の角印を押印する。

(改廃)

第8条 この内規は、商議員会の議決を経て改廃することができる。

(別紙)

1. 「支部長の印」

16mm丸印



2. 「支部長の印」

24mm平方角印



3. 「支部の印」

21mm平方角印



4. 「支部の金融機関印」

21mm平方角印



公益社団法人 地盤工学会四国支部会計規程

平成 30 年 4 月 24 日 制定

平成 31 年 4 月 22 日 改定

(目的)

第 1 条 この規程は、公益社団法人地盤工学会（以下「学会」という）規則第 51 条の規定により、学会四国支部（以下「支部」という）の会計事務の取扱手続を定める。

(適用)

第 2 条 支部の会計は、学会定款（以下「定款」という）、学会規則（以下「規則」という）及び支部規程に定めるもののほか、この規程に定めるところによる。

第 3 条 この規程は、支部の事業に係わる一切の会計に適用する。

第 4 条 定款第 43 条により、支部の事業年度は、毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

ただし、受託研究に関する事業が、事業年度の終了前に終結し精算を要する場合には、事業年度の定めにかかわらず事業終結時を以て事業年度の終了とすることができる。

第 5 条 支部の会計処理は、公益法人会計基準によるほか、法令の規定による。

第 6 条 支部の会計は、公益目的事業会計、法人会計とする。

(責任)

第 7 条 金銭の出納責任者は、支部幹事長を原則とする（以下「出納責任者」という）。

2 金銭の出納は、出納責任者が指名した者（以下「出納担当者」という）が行い、出納担当者以外の者が出納業務を行ってはならない。

(運用)

第 8 条 帳簿組織の運用については、次に定める方法による。

①支部への現金入金に際しては、入金伝票を起こす。

②支部からの現金支払いに際しては、支出伝票を起こす。

③入金伝票と出金伝票を綴り、現金・預金出入合計表を作成する。

(入金)

第 9 条 支部主催の事業や出版物等の入金は、原則として出納担当者が受け、金銭を受けたら直ちに入金伝票を起こし、補助簿に記入しなければならない。

2 本規程でいう出版物等とは、販売目的で出版している書籍、地盤図、DVD 等をいう。

第 10 条 出納担当者は、出納責任者の承認のもとに、入金先に領収証を発行する。また領収証の控は、出納責任者の承認のもとに、出納担当者が保管する。

2 発行する領収証および控には、支部の一連番号を付し、番号外の領収証の発行を防止する。

3 書損じ、汚損等で領収証が使用できない時は、控と本証とを同時に保管しなければならない。

4 予備の領収証は、予め番号を付して出納担当者が保管し、常に残数を確認する。

5 1 冊の領収証が使用済になった時は、控を出納担当者が保管しなければならない。

6 出納担当者は、出納責任者の承認のもとに、別葉領収書を発行することができる。

7 未使用の別葉領収書が出た場合には、その枚数を出納担当者が確認した上で廃棄し、出納責任者に報告する。

第 11 条 銀行預金、振替貯金の振込入金で領収証の発行を必要としないものについては、出納担当者は、銀行の振込通知書などを保管しなければならない。

(支払い)

第12条 金銭の支払いを行う場合、出納担当者は、出納責任者の承認を得る。

- 2 出納担当者は、外部へ支払うと同時に必ず領収証を取得し、これに確認捺印する。この際、領収証には、必ず年月日を記入する。
- 3 領収証を取得できない支出は、金銭請求者本人の受領証を取得する。
- 4 出納担当者は、出金後1週間を経ても支払先より領収証が取得されない時は、督促しなければならない。

第13条 旅費交通費等の概算額の仮払いを受けようとする者は、第12条の手続きにより、支出伝票を出納担当者に提出する。また、仮払いの対象となった事項が終了した時は、原則として1週間以内に精算を行わなければならない。

- 2 災害調査関係の支出に充てるため概算額を、予め仮払いすることができるものとし、精算は年度終了時もしくは災害調査完了時のいずれか早い日に行うものとする。
- 3 前回の仮払いの精算が終わらない者に対して、更なる仮払いを行ってはならない。

第14条 経常的な支払いは、一定日に締め、一定日に銀行振込によって支払うことを原則とする。

(預金の引出と為替の発行)

第15条 支部長は、出納責任者に預金引出、郵便振替払出小切手発行の権限を委譲することができる。

第16条 預金の引出、郵便振替払出小切手の発行を行う場合、出納担当者は出納責任者の承認を得る。

- 2 出納責任者は預金の引出、郵便振替払出小切手の発行を毎月末に確認する。

第17条 廃棄小切手は、出納担当者が控と共に綴り、明確に消印して保存する。

(照査と報告)

第18条 出納担当者は、現金について、当日の出納終了後、金種を実査し、現金・預金出入合計表と照合しなければならない。

- 2 現金に過不足が出た場合は、出納担当者は直ちに出納責任者に報告し、出納責任者は支部長に報告しなければならない。

第19条 出納担当者は、月末に現金預金の残高について現金・預金出入合計表と照合する。

- 2 規則第51条により、月末に現金預金の残高が、支部長が管理できる金額を超過した場合は、超過分を会長に送金しなければならない。
- 3 1ヶ月以内に、支部長が管理できる金額を超える支出を予定するときには、会長より送金を受けることができる。
- 4 現金預金に過不足が出た場合は、出納担当者は直ちに出納責任者に報告し、出納責任者は支部長に報告しなければならない。報告に基づき、支部長は現金預金の過不足の原因調査を行うとともに、その結果を会長に報告しなければならない。

(伝票等の保管)

第20条 出納担当者は、伝票類や小切手帳控など整然と保管し、後日の照合に備えなければならない。

(変更手続き)

第21条 取引銀行の取引開始、追加、変更は出納責任者の承認を要する。

第22条 預金種類の変更は出納責任者の承認を受けて行う。

(切手、印紙等の受払い)

第 23 条 郵便切手、収入印紙の受払いについては、出納担当者が受払簿を設け、出入りを明らかにする。受払簿は、出納責任者が確認し、半期毎に支部長に報告する。

2 会計上は購入時の費用として処理し、以後払出しの際は、受払簿に記入するのみで出金伝票を起こさない。

3 切手で入金したものは、入金伝票作成と同時に通信費もしくは郵便料としての出金伝票を起こし、受払簿に受入れる。

(出版物等の扱い)

第 24 条 出版物等の受払については、出納担当者は常に在庫高を帳簿上把握できるようにする。

第 25 条 出納担当者は、毎月末、出版物等の帳簿残高と実際残高を照合し、差異が発生した場合は、直ちに出納責任者に報告し、出納責任者は支部長に報告しなければならない。

(什器備品と固定資産)

第 26 条 支部に属する什器備品その他の固定資産を管理するため、固定資産台帳を備える。

第 27 条 備品費、研究費、実験費等会計費目に関係なく、支部の財産として管理すべき什器備品類は、全て固定資産台帳に記載し、取得年月日、取得先、品名、型式、数量、取得価額を記入することを要する。

第 28 条 什器備品類は、正当の理由なく、みだりに移動してはならず、その廃棄、売却については、出納責任者の承認と支部長の決裁を得なければならない。廃棄した什器備品類については、直ちに固定資産台帳にこの旨記録しなければならない。

(決算手順)

第 29 条 出納担当者は、毎年 3 月 31 日を以て、帳簿を締切り、決算整理を行う。

第 30 条 出納担当者は、出版物等の販売について毎年 3 月 31 日現在の未収金、売掛金を算出するとともに、受払帳と実地棚卸により在庫高を計算し、各明細書を作成する。

第 31 条 出納担当者は、期末に到着している請求書により未払金を計上し、明細書を作成する。

2 出納担当者は、現金、預金、仮払金、未収金、立替金、仮受金等諸勘定の明細書を作成する。

第 32 条 出納担当者は、決算整理を行った後、決算報告書を作成し、出納責任者へ提出する。

2 出納責任者は、点検のうえ、支部長へ提出する。

3 出納担当者は、支部長に承認された決算報告書を、学会事務局長に提出する。

第 33 条 決算報告書が総会の承認を得た後、出納担当者は、新年度会計帳簿に決算報告書の繰越残高を記入する。

第 34 条 支部主催の委員会その他の活動に関する会計処理については、別途定めるところによる。

(規程の改廃)

第 35 条 この規程を改廃しようとするときは、商議員会の議決を経て、支部総会の承認を得なければならない。

2 支部長は、この規程の変更を行う場合、予め理事会の承認を得なければならない。

公益社団法人 地盤工学会四国支部 会計規程に関する内規

平成30年4月24日 制定

平成31年4月22日 改定

(目 的)

第1条 この内規は、公益社団法人地盤工学会四国支部（以下「支部」という）の会計規程の運用について規定する。

(出納責任者に事故があった場合)

第2条 出納責任者は、支部幹事長を原則とするが、支部幹事長に事故があった場合は、支部長が指名する副支部長がその任にあたる。

(改 廃)

第3条 この内規は、商議員会の議決を経て改廃することができる。